

長浜市地域福祉活動計画

事業評価シート

平成27年度 年間

※本シートの詳細は、長浜市地域福祉活動計画事業報告シートをご覧ください

基本目標1 おせんどさんの地域づくり [地域の絆で安心して暮らせる地域づくり]

①地域の絆づくり

- P. 1 地区社協交流事業（地域交流事業）
- P. 2 小地域サロン支援事業（実施件数）
- P. 3 在宅介護者のつどい（開催回数）
- P. 4 しょうがい者交流事業（開催回数・参加者数）
- P. 5 多文化交流サロン（開催回数）
- P. 6 ふれあい用具貸出事業（貸出件数）
- P. 7 ふれあい備品購入助成事業（備品購入助成件数）
- P. 8 福祉出前講座（講座開催【地域福祉活動】）

②健やかな成長と自立を育む地域づくり

- P. 9 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（開催回数・参加者数）
- P. 10 冒険遊び場支援事業（開催地区数・開催回数）
- P. 11 福祉用具・車いす車両貸出事業（貸出件数）
- P. 12 たすけあい資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 12 生活福祉資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 12 緊急食糧給付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 13 中山間地域支援事業（参加者数）
- P. 14 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（活動地区数・活動日数）
- P. 15 日常生活支えあい促進事業（取組み地区件数）

③見守りで支えあう地域づくり

- P. 16 ひきこもり者等居場所づくり（参加者数）
- P. 17 福祉委員支援事業（設置自治会数・率）
- P. 18 地域除雪支援事業（支援自治会数・率）
- P. 19 ふれあい電話（利用者数・実施（相談）件数）
- P. 20 地域見守り活動推進事業（取組み活動支援自治会数・率、啓発活動・研修会等の開催）
- P. 21 歳末たすけあい運動（実施件数）
- P. 22 総合相談・よろず相談事業（相談件数）
- P. 23 権利擁護センター事業（後見牒・センター事業）（相談援助件数・権利擁護利用者数、支援回数）

基本目標2 だしかいなの人づくり [お互いさまの関係づくり]

①参加と交流を育む環境づくり

- P. 24 福祉教育推進事業（実施件数）
- P. 25 福祉出前講座（講座開催【技能習得】）
- P. 26 ボランティア養成講座（開催数・受講者数）
- P. 27 広報啓発事業（発行回数）
- P. 28 社会福祉大会（参加者数）

②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）

- P. 29 福祉団体活動助成事業（支援事業数）
- P. 30 災害支援ネットワーク事業（活動実施回数）
- P. 31 ボランティア団体支援（登録支援団体数）
- P. 32 ボランティア連絡協議会支援（事業開催回数）

③やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

- P. 33 長浜市福祉バス事業（バス運行実施回数）
- P. 34 地区社協研修事業（研修会等開催回数）
- P. 35 福祉委員推進事業（研修会等開催回数）
- P. 36 小地域サロン支援事業（開催回数）
- P. 37 しょうがい（児）者交流事業（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 38 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 39 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 40 福祉教育推進事業（受講者数）
- P. 41 ボランティアコーディネート業務（件数）

基本目標3 ねんごろな根太づくり [支えあって、安心して暮らせるしくみづくり]

①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり

- P. 42 福祉・生活相談窓口の運営（設置数【福祉生活相談・よろず相談】）
- P. 43 生活相談員の設置（設置数）

②気になる人を支えられる関係づくり

- P. 44 地域見守り活動推進事業（個別支援計画策定件数）
- P. 45 地域・介護連携会議（開催回数）

③協働と参画による地域づくり

- P. 46 地区別地域福祉推進事業【地域ケア会議】（地区活動計画策定数・率）
- P. 47 災害ボランティアセンターの機能強化（ボランティア数・訓練回数・養成講座回数・研修回数）
- P. 48 地域福祉コーディネーターの配置（設置数・研修会数）

長浜市地域福祉活動計画の基本目標、活動の柱、取り組みごとに事業分類しています。

長浜市地域福祉活動計画の推進目標ごとに事業が書かれています。

年間評価をA・B・Cの3段階にて評価していただきます。

平成27年度1年間の事業評価コメント（案）を書いています。

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価															
おきなわの地域へVS	1-① 地域の絆へVS	③ 地域対話（コミュニケーション）を促進します	<p>在宅介護者のつどい事業 地域福祉活動事例集 事例番号13参照</p> <p>事業目的 在宅で介護する介護者同士の交流を深め連帯感や絆を深めます。また、介護技術の研修・講習、リフレッシュ活動などで、在宅での介護をサポートします。</p> <p>○開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 介護者のリフレッシュや交流、情報交換の場として、定期的につどいを開催しています。 参加者 166名</p> <p>・主な内容 バスでおでかけ、映画鑑賞、そば打ち体験、介護学習会等</p> <p>【事業報告シートp. 4】</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数(回)	11	11				12	評価	【B】 おおむね達成できている
			年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			開催回数(回)	11	11				12										
<p>評価コメント</p> <p>在宅で介護をしている介護者同士の交流や情報交換の場を提供することで、介護者の孤立防止や学習会を通じた介護の充実が図られている。 平成26年度は、つどいの内容に参加者の声を取り入れることで、参加意欲の向上や、クチコミによる参加者増が図られている。 つどいでの交流がきっかけとなり、つどい外での参加者の交流が図られるなど、この事業を起点とした同時者同士の支え合いが生まれている。 今後は、さらに、推進委員には、「年間評価」と「主な事業成果および課題」についてコメントいただきたいと思っています。</p>	<p>主な事業成果および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流により、介護者同士の支え合いが生まれている。 定期的につどい開催されることで、介護者の孤立防止につながっている。 つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者増加が図れている。 つどいが交流のきっかけとなり、つどい外での交介護者のつながりができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな介護者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。 																		
<p>主な参加者・住民の評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> つどいがあるから救われている。他の人の介護の話を知ると参考になり、自分もがんばろうという力をもらっている。（参加者） 介護をし始めて、外出する機会が減ってしまっていたので、つどいへ参加することがストレス発散になっています。（参加者） 早めに案内チラシを送ってもらえるので、ケアマネジャーと介護の調整の相談がしやすい。（参加者） 初めて参加したが、体験活動などとおして気楽におしゃべり出来るので、介護のことなどいろいろ相談することができました。（参加者） つどいの内容に、参加者の声を取り入れてもらえるので、参加に対して意欲的になります。（参加者） ここで知り合った人と、つどい以外でもおしゃべりの場をつくっています。（参加者） 同じ立場の人同士でおしゃべりされるので、ストレス発散などを目的に参加を勧めています。（ケアマネジャー） 																			

事業視点ごとに、年度事業達成状況を数値化し、年間の事業実績を書いています。H30の数値は目標値です。

平成26年度1年間の活動事業の概略を書いています。（事業報告シート参照）

事業報告シートのページ番号を書いています。

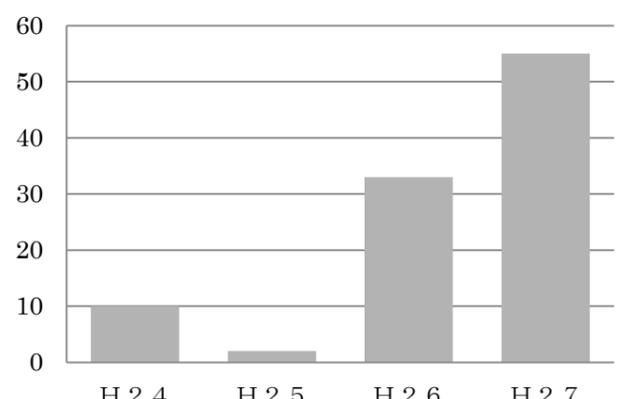
年間評価コメントの参考に、事業報告シートの「主な事業成果と課題」を書き出しています。（事業報告シート参照）

事業報告シートの「主な参加者・住民の評価・声」を書いています。（事業報告シート参照）

平成27年度長浜市地域福祉活動計画事業評価一覧表

おせんどさんの地域づくり A:6 B:15 C:2 計23		H26年度	H27年度
1-①地域の絆づくり			
1	地区社協交流事業	B	A
2	小地域サロン支援事業	A	A
3	在宅介護者のつどい事業	B	A
4	しょうがい者交流事業	A	A
5	多文化交流サロン	A	B
6	ふれあい用具貸出事業	A	B
7	ふれあい備品購入助成事業	B	C
8	福祉出前講座	A	A
1-②健やかな成長と自立を育む地域づくり			
9	子育て支援事業(おもちゃ図書館)	A	B
10	冒険遊び場支援事業	C	C
11	福祉用具・車いす車両貸出事業	B	B
12	たすけあい資金貸付・生活福祉資金貸付・緊急食糧給付	B	B
13	中山間地域支援事業	-	A
14	中山間地域支援事業(ワークキャンプ)	A	B
15	日常生活支えあい促進事業	A	B
1-③見守りで支えあう地域づくり			
16	ひきこもり者等居場所づくり事業	-	B
17	福祉委員支援事業	A	B
18	地域除雪支援事業	B	B
19	ふれあい電話事業	B	B
20	地域見守り活動推進事業	B	B
21	歳末たすけあい運動	B	B
22	総合相談・よろず相談事業	B	B
23	権利擁護センター事業(後見サポートセンター)	A	B

だしかいなの人づくり A:12 B:5 C:1 計18			
2-①参加と交流を育む環境づくり			
24	福祉教育推進事業	A	A
25	福祉出前講座(技術習得)	A	B
26	ボランティア養成講座	A	A
27	広報啓発事業	A	A
28	社会福祉大会	A	A
2-②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり			
29	福祉団体助成事業	A	A
30	災害支援活動ネットワーク事業	B	B
31	ボランティア団体支援	A	A
32	ボランティア連絡協議会支援	B	A
2-③やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分(人)づくり			
33	長浜市福祉パス事業	-	A
34	地区社協研修事業	A	A
35	福祉委員推進事業	A	A
36	小地域サロン支援事業(サロンボランティア)	A	A
37	しょうがい(児)者交流事業	A	B
38	子育て支援事業(おもちゃ図書館)(ボランティア)	B	B
39	中山間地域支援事業(ワークキャンプ)(ボランティア)	A	C
40	福祉教育推進事業(受講者)	A	B
41	ボランティアコーディネート業務	A	A
ねんごろな根太づくり A:6 B:1 C:0 計7			
3-①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり			
42	福祉・生活相談窓口の運営	A	A
43	生活相談員の設置	A	A
3-②気になる人を支えられる関係づくり			
44	地域見守り活動推進事業(個別支援計画策定率)	A	A
45	地域・介護連携会議	A	A
3-③協働と参画による地域づくり			
46	地区別地域福祉推進事業(地域ケア会議)	B	A
47	災害ボランティアセンターの機能強化	A	B
48	地域福祉コーディネーターの配置	A	A
合 計 A:24 B:21 C:3 計48			

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																														
おせんぼんの地域づくり	1 ① 地域の絆づくり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>地区社協交流事業 地域福祉活動事例集（別冊：以下同じ）事例番号1参照</p> <p>事業目的 地区社会福祉協議会（福祉の会）を基盤として、地域内の各団体・関係機関と連携し、地域の交流を深める行事等を開催します。また、地域内の福祉課題・ニーズを明らかにし地域住民が主体的に地域の課題に向けた取り組みを進めるため、福祉懇談会（ケア会議）を開催します。</p> </div> <p>○地区社協 地域交流事業 実施回数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>130</td> <td>131</td> <td>135</td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> </table> <p>○参加者数 平成26年度 15,289人 平成27年度 24,211人</p> <p>○実施状況報告 市内15地区で、各地区の地域交流を推進するため、地域福祉コーディネーターを配置して、活動や事業を支援しています。</p> <p>○福祉懇談会 実施回数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>2</td> <td>33</td> <td>55</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> </table> <p>○参加者数 967人</p> <p>実施状況報告 各地区の地域課題・ニーズを明確にして、新たな事業・取り組みにつなげるため、地域住民による懇談会を開催し、各地区で地域福祉に関わる人や団体と連携して取り組んでいます。</p> <p>【事業報告シートp. 2】</p> <div style="text-align: center;">  <p>【福祉懇談会開催回数の推移】</p> </div>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	130	131	135			150	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	2	33	55			20	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																								
		実施回数 (回)	130	131	135			150																								
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																										
実施回数 (回)	2	33	55			20																										
評価コメント	<p>各地区社協（福祉の会）が今まで培ってきた経験や人材を活用し、ふれあいや交流の機会づくりに取り組むことで、それぞれの地区の課題やニーズに対応した活動が展開されている。</p> <p>平成27年度は平成26年度に比べ、ほぼ全ての交流事業で参加者が増加しており、参加しやすい工夫や呼びかけが行われているほか、地区の活動として定着している様子が見える。</p> <p>一方で、活動のマンネリ化による参加者の固定化も見られており、活動の拡充に向けた取り組みが求められている。</p> <p>また、地区別の地域福祉活動計画が全地区で策定され、計画策定や計画推進に関わる福祉懇談会において地域の課題や今後の方向性が検討されることで、地域課題の共有や解決に向けた取り組み、連携の糸口が見つかるなど、具体的な活動につながっている。交流活動と、振り返りや改善の機会となる懇談会の一体的な取り組みによる地域課題に応じた福祉活動が推進されることが期待されている。</p>																															
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内全地区で地区の地域福祉活動計画が策定された。 生活課題や地域課題、これからの活動の方向性や目標など、それぞれの地域実情に合わせたきめ細やかな協議や検討が進められた。 地域の福祉課題等に応じた活動が展開されることで、交流が活性化しコミュニティの形成と継続が推進されている。 地区社協（福祉の会）をはじめ、地域づくり協議会やNPO、赤十字奉仕団など様々な団体の協働と連携により地域のふれあいと交流の活性化が図られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のマンネリ化等による参加者の固定化および減少が見られる活動もあり、内容や周知方法の改善が求められる。 																															
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> イベントに参加して、はじめて福祉の会と地域づくり協議会の活動を知りました、これからは意識して地域の活動に参加し、応援したいです。（子育て支援事業に参加した母親） 「自分たちの地域を自分たちで良くしたい」という思いをカタチに出来るのが地区社協のつよみです。（地区社協役員） 毎年、交流会が開催されることを楽しみにしています。（ひとり暮らし高齢者のつどい参加者） 地域の中にお友達をつくることができ良かったです。（子育てサロン参加者） まずは人とつながることが、外に足を向ける第一歩だと思います。そんな機会を少しでも増やしていきたいですね。（民生委員児童委員） ひとりではできる事も限られますが、みんなで話しあえば新たなアイデアも出てくるし、やる気も出てくるのでいい機会です。（福祉懇談会参加者） 地区内で様々な立場で活動されている人たちが話しあう場を設けられているので、自分自身の勉強にもなりました。また、自分たちが持っている思いも共有することができたので、今後の活動の連携に活かしていきたいです。（福祉懇談会参加者） 																															

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																							
長浜市地域福祉活動計画事業 1-① 地域の絆づくり		<div data-bbox="350 279 1347 478" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小地域サロン支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号29参照</p> <p>事業目的 高齢者等の交流・コミュニケーションの場である小地域サロン活動の設置を推進し、高齢者の健康増進と自治会内での見守り、支えあいの推進基盤を育成・強化します。</p> </div> <p>○小地域サロン実施件数（自治会）※社協登録団体</p> <table border="1" data-bbox="365 537 1362 764"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施地区数 (地区)</td> <td>153</td> <td>165</td> <td>175</td> <td></td> <td></td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>実施率 (%)</td> <td>35.2</td> <td>38.7</td> <td>41.1</td> <td></td> <td></td> <td>44.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実施率分母 425 自治会</p> <p>○実施状況報告 各地域で世代を超えた交流や居場所づくり、顔の見える関係を深めるため、地域住民ボランティアによるサロン活動が展開されています。サロン活動が地域福祉の基盤となるよう財源支援やレクリエーション備品の充実、ボランティア等の派遣を行っています。 また、情報紙の発行（年4回）やサロンボランティアの情報交換会を行い、新たな活動へのきっかけづくりや活動意欲を高めるための支援を行っています。</p> <p>【事業報告シートp. 4】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="350 1255 825 1591"> <p>【小地域サロン実施地区数】</p> </div> <div data-bbox="884 1234 1329 1591"> <p>【実施率の推移】</p> </div> </div>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施地区数 (地区)	153	165	175			190	実施率 (%)	35.2	38.7	41.1			44.6	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		実施地区数 (地区)	153	165	175			190																	
実施率 (%)	35.2	38.7	41.1			44.6																			
評価コメント	<p>平成27年度のサロン活動の参加者が36,105人となり、前年度より4,300人程増加している。顔の見える関係の中でつながりを深めることで地域の絆を育む基盤として取り組みが進められている。</p> <p>12 の新規サロンの立ち上げや、既存サロンの継続や参加者の増加は、地区社協等からの支援、自治会などを単位としたふれあいの場や交流の場の必要性の高まりによるものであり、住民の居場所づくりや地域の絆を深める一役を担っている。</p> <p>今後も、未実施地区における新たなサロン活動の取り組みや、既存のサロン活動の支援をとおして、小地域のふれあいや交流を原点としたつながりや、見守り支えあいの関係づくりの推進が必要である。</p>																								
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動をとおして地域の顔が見える関係づくりの深まりや閉じこもり防止、介護予防につながっている。 ・定期的にサロンに参加されることで、サロン参加が習慣化し日常生活の中にサロンが定着してきている。 ・簡単で楽しめるレクリエーションを紹介することで、参加者も楽しめ、運営者もサロンの実施がしやすい環境が整い、充実したサロン活動につながっている。 ・地区社協との連携・協働によりサロン研修会・情報交換会を開催し、コミュニケーションマージャンの普及・啓発の取り組みを進めたことで、貸出回数も増え、男性のサロン参加向上につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の規模や世代構成など、サロン活動に対する温度差がある。サロン活動を実施しにくい地域の活動支援強化が必要である。 																								
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンに参加してサロン外の付き合い方も広がり、あいさつや立ち話をするようになった。(サロン参加者) ・サロン交流会で他のサロンの方と交流しサロンのヒントをもらいました。(サロン運営者) ・コミュニケーションマージャンを出前講座にて来てもらいサロン参加者で行い、男性にも女性も人気があり、また麻雀したいとの声を聞きスタッフも喜んでいきます。(サロン運営者) ・交流会でコグニサイズ(リズム体操)を学び、サロンでみんなで行うと時間があっという間に過ぎてしまいます。(サロン参加者：男性) ・体調が少し悪くても、サロンに行きたいとおもうくらい楽しみにしています。(サロン参加者) 																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
おおさかやまのまちづくりのまちづくり	1-① 地域の絆づくり	<p>在宅介護者のつどい事業 地域福祉活動事例集 事例番号13参照</p> <p>事業目的 在宅で介護する介護者同士の交流を深め連帯感や絆を深めます。また、介護技術の研修・講習、リフレッシュ活動などで、在宅での介護をサポートします。</p> <p>○開催回数</p> <table border="1" data-bbox="368 541 1359 688"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 介護者のリフレッシュや交流、情報交換の場として、定期的につどいを開催しています。 参加者：146名 ・主な内容 バスでおでかけ、映画鑑賞、手打ちうどん体験、介護学習会等 【事業報告シートp. 6】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	11	11	12			12	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	11	11	12			12										
評価コメント	<p>介護者同士の交流や情報交換の場を提供することで、介護者の孤立防止や学習会とおとした介護意欲や知識の向上が図られている。</p> <p>平成27年度は、年間を通じて毎月1回の定期的な介護者同士の交流の場づくりが進められた。つどいの内容に参加者の声を取り入れたことで、参加者の参加意欲の向上と増加につながっている。</p> <p>新たな参加者の増加もあまりみられないため、包括支援センターや介護事業所等と連携を密にし、参加者の増加を図ることが求められる。</p>																	
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流により介護者の情報交換や気分転換につながっている。 定期的につどいが開催されることで、介護者の心の拠り所となり心身のリフレッシュにつながっている。 つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者の楽しみの場が出来る。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規の参加者が少なく、参加者が固定化しつつあるためつどいの幅広い周知が必要。 																	
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんと交流を通じて、介護の考え方や方法、知識を語り合いたいです。そのうちに馴染みが出てきます。(参加者) 季節に応じた内容で気分転換できたので、在宅介護中のお友達にもおすすめしたいです。(参加者) 講演会、懇親会、遠出外出、食事会等どれも良かったです。継続して実施して欲しいです。(参加者) 参加して、どれも良かったです。ありがとうございます。(参加者) 																	

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																							
おおむね達成している 地域福祉の推進	1-① 地域の絆づくり	<p style="text-align: center;">多文化交流サロン 地域福祉活動事例集 事例番号30参照</p> <p>事業目的 市内在住の他国出身者（外国籍・婚姻等）同士やボランティアとの交流を深め、日本を含むさまざまな文化や伝統行事等の体験をとおして参加者の絆を深めます。</p>	<p>評価</p>	<p style="text-align: center;">【B】 おおむね達成できている</p>																					
		<p>○開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>145</td> <td>203</td> <td>188</td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	12	12	11			12	参加者数 (人)	145	203	188			230	<p>評価コメント</p>	<p>他国出身者を対象に、地域での居場所づくりや相談し合う関係づくりの取り組みが進められている。参加者自身が活動の企画を考え、参加を呼び掛けることで、参加者の主体的な活動の定着が図られている。</p> <p>平成27年度は、日本料理や文化を学ぶ機会を作る事で参加者の日本での生活の自信につながる支援が実施されていた。</p> <p>今後も、学び合い・交流を深め、相談し合える居場所としての役割を担い、他国出身者が地域で孤立することなく生活できる地域づくりを推進していくことが必要である。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		開催回数 (回)	12	12	11			12																	
参加者数 (人)	145	203	188			230																			
<p>○実施状況報告</p> <p>市内在住の他国出身者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをもって暮らせるよう居場所づくり（多文化交流サロン）を実施しています。</p> <p>○主な内容</p> <p>調理活動、伝統行事の体験等</p> <p>【事業報告シートp. 9】</p>	<p>主な事業成果 および課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の絆が深まり居場所となることで、相談しあえる関係づくりにつながっている。 ・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等で情報交換を行い、仲間づくりやつながりが深められている。 ・サロン参加者が地域事業へ参加したことで、活動の場がサロンから地域へと広がり、新たな関係づくりの輪が広がっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立しがちな他国出身者が、日常的に相談できる仕組みづくりの推進が必要である。 																							
	<p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンに参加すると母国語で話せてうれしいです。（参加者） ・サロンで知り合い、地域の事業にも参加できてうれしかった。（参加者） ・子どもが大きくなって、サロンに参加ができていく時がありますが、参加できる時は楽しみにして参加しています。（参加者） ・日本の料理を教えてもらう機会がないのでうれしいです。（参加者） ・ここに来ると、いろんな事を話せて相談にのってもらいうれしいです。（参加者） 																							

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
おたけやらの地域ひろ	1 ① 地域の絆つくり	<p>ふれあい用具貸出事業 地域福祉活動事例集 事例番号38参照</p> <p>事業目的 自治会・ボランティア団体など地域福祉活動を推進する団体が行う地域行事に、レクリエーション・イベント用具等を貸出し、地域交流の増進を図り地域の絆を育みます。</p> <p>○貸出件数</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1359 678"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数 (回)</td> <td>1,336</td> <td>1,497</td> <td>1,436</td> <td></td> <td></td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 自治会等の地域福祉活動を行う団体に対して、レクリエーション用具等を貸出し、地域交流の増進や活動の発展を図っています。</p> <p>○主な貸出用具 調理器具・・・ポップコーン、綿菓子器等 レクリエーション用具・・・輪投げ、ストラックアウト等 【事業報告シートp. 10】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数 (回)	1,336	1,497	1,436			1,800	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		貸出件数 (回)	1,336	1,497	1,436			1,800										
評価コメント	<p>自治会や福祉団体等が実施する地域住民のふれあいと交流を目的とした活動に対して、ふれあい用具の貸出を行うことで地域交流の活性化が図られている。</p> <p>平成27年度はサロン活動等で使いやすいレクリエーション物品の整備が進められ、レクリエーション物品の貸出件数が12%増加した。しかし、全体的には調理器具の老朽化などにより貸出件数が減少しているため、故障対応や器具の更新についての検討が必要である。</p> <p>活動者にやりがいと、参加者が楽しみをもって参加するためにも、ふれあい用具の充実と活用の推進が必要である。</p>																	
<p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具の貸出しにより地域交流イベントが活性化し、ふれあいと交流の機会づくりにつながっている。 サロン活動等に利用しやすいレクリエーション物品の整備が進められ貸出件数が伸びている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型調理器具（ポップコーン機、綿菓子機等）の老朽化や故障等により貸出件数の減少が見られるため、故障対応や機器の更新による安定した貸出事業の継続が求められている。 <p>・様々な用具があり、自治会の交流イベントがマンネリ化することなく、みんなに楽しんでもらうことができます。（自治会役員）</p> <p>・無料の貸し出しのため、サロンや老人会などでも気軽に借りることができてありがたいです。（サロンスタッフ）</p> <p>・自治会の子ども会イベントにて調理器具を貸していただき子どもたちが非常によろこんでいた。（自治会役員）</p>																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
おおさかふれあい地域福祉活動	① 地域の絆	<p>ふれあい備品購入助成事業 地域福祉活動事例集 事例番号14参照</p> <p>事業目的 自治会の交流を目的とした備品の購入助成を通じて自治会員相互のふれあい・交流活動の促進を図ります。</p>	<p>評価</p>	<p>【C】事業の強化または見直しが必要である</p>														
		<p>○備品購入助成件数</p> <table border="1" data-bbox="362 499 1359 638"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数 (件)</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	助成件数 (件)	26	22	16			30	<p>評価コメント</p>	<p>平成18年度より247の自治会が交流活動に必要な備品を整備し、自治会活動の活性化と交流が推進されている。平成27年度は新たに16自治会が地域交流活動に必要な備品を整備し地域での交流活動の充実につながった。</p> <p>今後も継続した事業の取り組みにより、地域実情に応じた備品整備を進め、住民交流活動の推進を図ることが必要である。ただし、事業開始後10年が経過する中で、助成対象自治会が減少していることもあり、助成件数の上限の引き下げなど、現状に応じた対応が求められる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		助成件数 (件)	26	22	16			30										
<p>○実施状況報告</p> <p>赤い羽根共同募金を財源に、住民主体の地域活動のために必要な備品購入費を支援し、自治会内の交流活動と地域福祉の増進を図っています。</p>	<p>主な事業成果 および課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズに応じた備品を自治会が自ら整備することで、地域のふれあい・交流活動が促進された。 																
<p>【事業報告シートp. 11】</p>	<p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<ul style="list-style-type: none"> サロン参加者に足腰の不調を訴える方が多かったので、パイプイスを購入したところ、参加者が増えました。(自治会長) 自治会館に手すりを設置したことで、自治会館に来にくかった住民も集まりやすくなりました。(自治会長) 自治会のイベントやサロンに使用するため、プロジェクターとスクリーンを購入しました。会議資料の投映や、映画を上映できようになり、自治会館が幅広い年代の住民が集う憩い場になりました。(自治会長) ノートパソコンの購入により、自治会の情報管理が楽になりました。自治会の広報紙作成に役立ってます。(自治会長) 購入したホワイトボードは公民館にて自治会行事、サロン、子供会、老人会等、会議、レクレーションの手段として活用します。(自治会長) 高齢化に伴い各家庭での火器の扱いリスクが高まっている中、既存の防火機器は老朽化し火災に対応しきれない状態になっているため助成を利用し新たに購入しました。(自治会長) 																

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
おせえちゃん地域ひろ	1 ① 地域の絆	<p>福祉出前講座 地域福祉活動事例集 事例番号16参照</p> <p>事業目的 福祉出前講座をとおして、地域福祉に対する住民意識を高め、地域内での住民同士のたすけあい、支えあいの基盤強化と地域の対話を促進します。</p>	評価	【A】達成できている														
		<p>○講座開催回数（地域福祉活動）</p> <table border="1" data-bbox="365 499 1359 636"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>32</td> <td>70</td> <td>76</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	32	70	76			40	評価コメント	<p>福祉学習の場として地域の身近なところで参加する機会の充実が図られている。</p> <p>平成27年度は、権利擁護や地域の見守り活動等のプログラムを拡充することで、地域のニーズ、課題に対応したプログラムの構築が進められた。特徴としては、小地域サロンや自治会で「いざめし」や「HUG講座」の要望が多く、防災への意識の高さがうかがえた。</p> <p>今後は、さらに地域課題やニーズに応じたプログラムを開発するなど、地域の支えあいや地域福祉の関心を高める取り組みが求められる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	32	70	76			40										
<p>○実施状況報告</p> <p>専門知識及び技術を持った社会福祉協議会職員が講師となり、地域住民が福祉活動を身近に感じてもらえるような講座を開催し、地域福祉の啓発と関心を高める活動を行っています。</p> <p>【事業報告シートp.12】</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会やサロンなど、地域の身近なところで福祉活動に対する関心を高める取り組みが広がっている。 リクエストにより地域の要望に柔軟に応じることで、学びの効果を高めるとともに地域課題に対応することができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題やニーズに応じたプログラムの開発が求められる。 																
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所で、近所の方とともに福祉について学習する機会があり、意識が変わった。（一般参加者） 権利擁護の日頃の行政手続きや金銭管理など、どんなサポートをしてもらえるのか具体例を交えて紹介してもらいわかりやすかった。（民生委員児童委員） 災害時を想定したHUGをすることで、平常時から自治会で避難支援等について考えるきっかけとなった。（自主防災組織） 回想法について知ることができ、サロンで皆さんと一緒に楽しみました。（サロンスタッフ） 出前講座は気軽に申し込みができるので、今の情勢にあった地域福祉について自治会で学ぶ機会ができています。（自治会役員） 講座内容も細かく打ち合わせができるので、希望の内容でのリクエストができました。 																

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																							
おやさん地域のつな	1 ② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	<p>子育て支援事業（おもちゃ図書館） <small>地域福祉活動事例集 事例番号20参照</small></p> <p>事業目的 おもちゃを通して、子ども（乳幼児等）の豊かな発想と発育を支援し、子どもや保護者、ボランティアがつながりを深めるとともに、子どもを地域全体で見守る活動を推進します。</p> <p>○おもちゃ図書館 開催回数・参加者数</p> <table border="1" data-bbox="365 499 1359 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>67</td> <td>80</td> <td>78</td> <td></td> <td></td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>465</td> <td>818</td> <td>611</td> <td></td> <td></td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 未就園児と保護者を対象とし、多様なおもちゃでの遊びや簡単な工作を通して、子どもの豊かな発想と発育を支援します。また、保護者同士やボランティアとの交流を通じ、子育て環境の充実と地域とのつながりづくりを促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虎姫会場 …毎月第2、3水曜日 9時30分～11時30分（延べ参加者：480人） ・木之本会場…毎週火曜日 9時30分～11時30分（延べ参加者：131人） <p>【事業報告シートp. 13】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	67	80	78			86	参加者数 (人)	465	818	611			700	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		実施回数 (回)	67	80	78			86																	
		参加者数 (人)	465	818	611			700																	
評価コメント	<p>地域の中に子どもと保護者の居場所づくりを進め、ボランティアと協働し子育て世帯の地域からの孤立化の軽減や地域ぐるみで子どもを育て見守る体制づくりが進められている。</p> <p>平成27年度は、季節を感じるイベントへの参加が多く、定期的に行事を行うことで参加者同士による口コミでの交流の輪が広がっている。また、大型おもちゃや飛び出す絵本等、各々の家庭では準備しにくいおもちゃを設置することで参加意欲の向上と子どもたちの豊かな発想・発育を支援する取り組みが進められている。</p> <p>今後さらに、活動内容（イベント等）および周知・案内方法を工夫することで、参加者の増加につながる取り組みの推進が求められる。</p>																								
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流により、育児に対するストレスの軽減と情報交換や仲間づくりを図ることができている。 ・子育て支援センター等専門機関との連携による啓発活動を行うなど、幅広い地域で参加者増加に向けた取り組みが進められている。 ・地区社協をはじめとする福祉団体の協力を得て、地域ぐるみの活動が進められている。 ・季節を感じる（夏祭りやクリスマス等）の参加が特に多く、長浜市全域からの参加があり、広報紙やチラシ、保護者同士の情報交換による周知が図られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな参加が減少傾向にあり、周知方法とフリースペースとしての魅力を再度検討し事業展開を図る必要がある。 																								
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・他県から転居してきたので、知り合いもおらず不安いっぱいの子育てしていました。勇気を出して参加したところ、同じ境遇のママさんと知り合うことができ、今では誘い合って参加しています。 ・同じ団地に同世代の子どもがいないので、子どもの友達づくりも兼ねて参加しました。友達もたくさんでき、子どもも私も楽しみにしています。 ・ボランティアさんが作ってくださる美味しいおやつを楽しみにしています。祖父母と同居していないので、子どももボランティアさんのことを本当の祖父母のように慕っています。 																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
1 ② 健康やかな成長と自立を育む地域づくり		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>冒険遊び場支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号19参照</p> <p>事業目的 子どもが自然の中で元気に遊べる機会を創造し、四季を通じた外遊びの体験、子ども同士・親同士の交流を深め、子育ての大切さや支えあえる活動を推進します。</p> </div> <p>○冒険遊び場 開催地区数・開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地区 (地区)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>22</td> <td>17</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 子どもが外で自由に遊べる環境が少なくなってきた中、外遊びを主体とした親子の居場所づくりを目的とした活動を推進しています。活動費の助成や活動に対する相談援助を行うことで、活動の充実や新たな取り組み、活動支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの中での1日冒険遊び場体験の開催 5回 ・新規活動相談 3件 ・子育てで地域の魅力づくり研修会 参加者22名 ・冒険遊び場づくり講座 参加者29名 <p>【事業報告シートp. 14】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催地区 (地区)	2	2	1			3	開催回数 (回)	22	17	1			36	評 価	【C】事業の強化または見直しが必要である
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		開催地区 (地区)	2	2	1			3																	
		開催回数 (回)	22	17	1			36																	
評価コメント	子どもが外で自由に遊べる環境が少なくなる中、冒険遊び場は外遊びを中心とした子どもの居場所づくりの活動が進められている。 平成27年度は、地域団体・NPO や活動に関心の高い市民の活動者を中心とした研修会・ワークショップを開催し、外遊びをととした地域の子どもの居場所づくり活動への関心を高める取り組みが進められた。しかしながら、新規の立ち上げに至っていないため、個別に活動者や地域の実情に応じたきめ細やかな支援が必要である。																								
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの中に冒険あそび場活動が取り入れられることで活動の理解と関心が高まっている。 ・講座の開催により、地域の諸団体の活動への関心が高まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や講座をとおして新規の取り組みに向けて啓発できたが、具体的な活動へつなげる支援が必要である。 ・活動者（保護者）が子どもの成長とともに活動を卒業するため、常に新たな活動者の育成が求められる。 ・地域の子育てとして、子育て支援活動団体との連携した取り組み推進が必要である。 																								
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に外で遊ぶことができ良かった。（1日冒険遊び場参加の保護者） ・自分の地域で冒険遊び場をやってみたい。（1日冒険遊び場参加の保護者） ・冒険遊び場を立ち上げたら、子どもの頃の遊びを今の子どもたちに教えてあげたい。（ワークショップ参加者） ・いずれ、冒険遊び場を森の中に作りたいと思っています。（冒険遊び場づくり講座参加者） ・地域の中に冒険遊び場が出来るように、地域の人に呼びかけていきたいです。（冒険遊び場づくり講座参加者） 																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おおせとびわんの地域づくり	1—② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	<p>福祉用具・車いす車両貸出事業 地域福祉活動事例集 事例番号16参照</p> <p>事業目的 在宅で生活する高齢者やしょうがい者等に対し、車いすを貸出し、在宅での生活を支援します。また外出支援として、高齢者やしょうがい者の移動や社会参加の促進のため、介護用車両（車いす用リフト付車両）を貸出します。</p> <p>○福祉用具・車いす車両 貸出件数</p> <table border="1" data-bbox="371 499 1368 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数(件) 【福祉用具】</td> <td>221</td> <td>221</td> <td>323</td> <td></td> <td></td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>貸出件数(件) 【車いす車両】</td> <td>138</td> <td>114</td> <td>164</td> <td></td> <td></td> <td>285</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 高齢者やしょうがい者の外出を促進するための車いす車両の貸出や、在宅での生活を向上させるための福祉用具（車いす）の貸出を実施しています。 【事業報告シートp. 15】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数(件) 【福祉用具】	221	221	323			350	貸出件数(件) 【車いす車両】	138	114	164			285	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		貸出件数(件) 【福祉用具】	221	221	323			350																	
		貸出件数(件) 【車いす車両】	138	114	164			285																	
評価コメント	福祉用具および車いす車両の貸出により、地域社会や家族・友人との絆やつながりを深める基盤づくりが推進されている。 平成27年度は、福祉用具の貸出件数が増加し、要援護者等の地域生活を支える取り組みが推進されている。																								
主な事業成果および課題	【成果】 ・要援護者等（福祉用具等を必要としている方）の社会参加を促すことで、家族の絆づくりや地域の交流が促進されている。																								
主な参加者・住民の評価・声	・車いすが急に必要になった時に対応してもらえて助かりました。（高齢者を介護する家族） ・車いす車両のおかげで家族と外出できて、旅行を諦めていた祖父がとても喜んでいました。（車いすを使用している高齢者家族） ・車いす車両を利用させていただき、孫と出かけることができ良い思い出になった。（車いす使用高齢者）																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																																					
おせえの地域へ	1-2 健やかな成長と自立を育む地域へ	<p>たすけあい資金貸付・生活福祉資金貸付・緊急食料給付 <small>地域福祉活動事例集 事例番号35~37参照</small></p> <p>事業目的 資金の貸付・食料品の支給等と必要な相談支援をおこなうことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるための支援をおこないます。</p> <p>○相談件数・貸付件数・給付件数</p> <table border="1" data-bbox="371 499 1368 911"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>761</td> <td>724</td> <td>716</td> <td></td> <td></td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>貸付件数(件) 【生活福祉資金】</td> <td>91</td> <td>72</td> <td>69</td> <td></td> <td></td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>貸付件数(件) 【たすけあい資金】</td> <td>75</td> <td>69</td> <td>56</td> <td></td> <td></td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>緊急食糧 給付件数(件)</td> <td>75</td> <td>41</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 低所得世帯やしょうがい者、高齢者世帯等を対象に、貸付を中心とした生活相談支援を実施しています。 相談者には失業や多重債務、判断能力が十分でない方など複合した生活課題を抱えている世帯が多く、行政関係機関と連携し世帯の課題解決に向けた取り組みを進めています。 【事業報告シートp. 15】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数 (件)	761	724	716			690	貸付件数(件) 【生活福祉資金】	91	72	69			120	貸付件数(件) 【たすけあい資金】	75	69	56			120	緊急食糧 給付件数(件)	75	41	51			100	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																															
		相談件数 (件)	761	724	716			690																															
		貸付件数(件) 【生活福祉資金】	91	72	69			120																															
貸付件数(件) 【たすけあい資金】	75	69	56			120																																	
緊急食糧 給付件数(件)	75	41	51			100																																	
評価コメント	<p>生活資金貸付等の支援により生活困窮者世帯等が抱える生活課題の改善に向けた取り組みが進められている。貸付件数は減少傾向にあるが、複合的かつ深刻な課題を抱えるケースが顕著になってきている。</p> <p>平成27年度は、ひとり親世帯で低所得等により進学に悩む世帯や離職等で生活困窮に陥り住居を失うリスクが高い世帯への貸付相談支援などもあり、生活困窮世帯等に対する自立に向けた支援の必要性の高まりが感じられる。</p> <p>生活困窮者自立支援制度等との連携・情報共有を行うことで、個別の生活課題に対する自立に向けた包括的支援体制の構築が求められている。</p>																																						
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障制度利用までのつなぎ資金の貸付や就労意欲のある失業者の自立に向けた貸付、低所得世帯等の就学資金の貸付、食料給付等による一時的な生活の維持および安定に向けた取り組みを展開している。 ・ 今期から、電気・ガス等の供給停止で調理ができない世帯に対し、調理器具の無償貸与の仕組みを整備することができた。 ・ 生活困窮者自立支援制度窓口と連携し、セーフティネット機能の役割を担うことができています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸付制度の利用ができない世帯に対する相談支援を関係機関と連携して行う必要がある。 																																						
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない収入でやりくりする中、家電の故障で買い替えが必要な時に利用できて助かった。(たすけあい資金貸付利用者) ・ 生活困窮世帯への緊急一時的な食料品給付があることで公的利用までのつなぎが出来ました。(民生委員児童委員) ・ 大学に進学したい子どもの就学が可能になり、とてもありがたいです。親子で頑張って返済していきます。(教育支援資金貸付利用者の母親) ・ ガスが止められているので緊急食糧をもらっても調理できないと言ったら、調理器具を貸してもらえ、非常にありがたかった。(緊急食糧給付利用者) 																																						

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
おせんどの地域のひろ	1—② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	<p>【中山間地支援事業】</p> <p>○事業目的 人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を実施します。</p> <p>○余呉地域カフェ 参加者数</p> <table border="1" data-bbox="371 590 1368 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ参加者数 (名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,058</td> <td></td> <td></td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	延べ参加者数 (名)	-	-	1,058			700	評価	【A】 達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		延べ参加者数 (名)	-	-	1,058			700										
		<p>○実施状況報告（平成27年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域カフェの開設 開催日時：毎週木曜日 午前10時～午後3時 開設場所：余呉高齢者福祉センター 参加者数：延べ1,058名 生きがいづくり教室の開催 開催日時：毎週木曜日 午前10時～正午 開催場所：地域カフェ会場内 内 容：そば打ち教室、小物づくり教室、健康教室、等 35回開催 参加者数：延べ345名 中山間地域福祉活動フォーラムの開催 開催日：平成28年2月14日（日） 参加者： 111名 生活支援ボランティア活動の育成支援 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の、日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援ボランティアの育成及び活動支援を行う。 元気かい活動支援 ・活動助成金交付 ・活動啓発支援 ・活動備品の貸出 <p>【事業報告シートp. 18】</p>	評価コメント	<p>中山間地域においては人口減少や少子高齢化が一段とすすみ、地域の担い手不足や交流の機会が減少している。</p> <p>平成27年度は、地域カフェによる交流と外出の機会づくり、趣味活動をとおした生きがいづくりの促進や生活支援ボランティア活動を活性化させるための支援を行うことで、中山間地域の福祉課題に対応した住民主体のたすけあい、支えあいの取り組みが推進された。子どもと保護者の参加が多く、高齢者から子供までの幅広い世代の交流・居場所として機能している。</p> <p>一方で移動手段を持たない方が参加しにくい状況にあるため、移動手段の確保等中山間地域における参加支援の取り組みが必要である。</p> <p>また、「中山間地域での暮らしを考えるフォーラム」を開催し、地域住民主体のたすけあい活動の意識啓発が図られた。</p>														
	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を中心とした地域住民の居場所づくりによる交流促進と仲間づくりが図られている。 世代間交流の場として活動が広がっている。 生きがいづくり教室について、関心の高い調理活動を取り入れることによって、いろんな世代の参加者が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生きがいづくり教室は参加者が少ないため、より関心の高い取り組みとなるよう参加者ニーズの把握とニーズに沿った企画が求められている。 カフェまでの移動手段がなく、参加したくても参加出来ない方に対する移動支援の検討が必要である。 																
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ほっこり茶屋で友達とゆっくりとお喋りできるのがうれしいです。（カフェ利用者） コーヒーが好きなので、近くにゆっくりと飲める場所ができてよかった。（カフェ利用者） ここは小さなお子さん連れのお母さんも来ているので、子どもの元気な姿をみて元気をもらっています。（カフェ利用者） いつも健康のことを気にして暮らしています。毎月健康教室があるのがありがたいです。（生きがいづくり教室参加者） 主人を亡くし落ち込んでいる時に、ほっこり茶屋に来ておしゃべりしていると心が落ち着いて癒されました。（カフェ利用者） 仲間と健康麻雀を楽しんでいます。コーヒーも飲み、（つつじ作業所の）パンも食べながらできるので、良い場所です。（カフェ利用者） ここへ来ると、同じ未就園児を連れたママ達と悩みを相談したり、いろいろな情報交換ができるのでうれしいです。（子育て中の母親） 身近な場所に居場所がせっかくできたので、協力してよりよい居場所づくりを一緒に進めていきたい。（余呉福祉の会） 																

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おせんぼんの地域ひろ	1 ② 健やかな成長と自立を育む地域ひろ	<p>中山間地域支援事業（ワークキャンプ） <small>地域福祉活動事例集 事例番号17参照</small></p> <p>事業目的 限界集落の地域活動の活性化・地域課題の解決を図るため、ボランティア等による支援・交流活動を促進します。</p>	評価	【B】おおむね達成できている																					
		<p>○活動地区数・活動日数</p> <table border="1" data-bbox="371 457 1365 688"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区数 (地区)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>活動日数 (日)</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	地区数 (地区)	3	3	3			4	活動日数 (日)	4	7	8			8	評価コメント	<p>中山間地域支援事業（ワークキャンプ）によって、高齢化が進み、住民だけでは解決が困難な生活課題を地域住民と大学生ボランティア等が協力しあい地域と暮らしの課題解決に向けた取り組みが進められている。</p> <p>平成27年度は新たな活動地域の開拓において、自治会長と連絡調整を行い、取り組みの拡充を図ったが実施に向けた受け入れ体制を構築するには至らなかった。今後継続して事業周知を行いながら、地域での活動に対する理解向上を図り、より多くの地域での実施に向けた取り組みを進めることが求められている。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		地区数 (地区)	3	3	3			4																	
活動日数 (日)	4	7	8			8																			
<p>○実施状況報告</p> <p>高齢化率50%を超える中山間地域において、夏場は水路の土砂あげや草刈り、自治会館の玄関口の掃除など、冬場には除雪作業を中心に住民だけでは解決が困難な作業をボランティアと地域住民が協力し、中山間地域の活性化に向けた取り組みを進めています。</p> <p>【事業報告シートp. 20】</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、自治会役員だけでは対応しきれない地域課題を地元住民と大学生ボランティア等が作業（ワーク）を通して解決に向けた取り組みが進められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の開拓については、自治会の実情に応じた支援が求められるため状況や課題を把握し取り組みを進める必要がある。 																							
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・何年も作業ができていなかったが、学生ボランティアさんのおかげで取り組むことができた。ぜひ来年も来てほしい。（地域住民） ・ボランティア活動を通して、田舎のイメージと現実と大きく違い、地元住民さんの助けになったことが嬉しかったです。（学生ボランティア） ・過疎化が進んでいる現状を知り、その地域を若い自分たちが積極的に支援していくことが大切だと感じました。（学生ボランティア） 																							

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
おせとびの地域ひろ	1 ② 健やかな成長と自立を育む地域ひろ	<p>日常生活支えあい促進事業 地域福祉活動事例集 事例番号45参照</p> <p>事業目的 高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地の過疎化などが進行する一方で、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえでさまざまな生活課題や日常生活の不便さを感じる方も増加しています。地域住民が主体的に地域のさまざまな生活課題の解決に向けて取り組むことを目的として、地域支援組織（生活支援ボランティア組織・NPO等）の設立・活動支援をおこないます。</p>	評 価	【B】 おおむね達成できている														
		<p>○取組み地区件数</p> <table border="1" data-bbox="368 548 1368 684"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区件数 (件)</td> <td>未実施</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	地区件数 (件)	未実施	2	2			3	評価コメント	<p>公的サービスだけでは支えきれない高齢者やしょうがい者を中心とした生活課題に対して住民ボランティアによる支えあい活動が展開されている。日常の支えあい体制が構築されることで、安心して暮らせる地域づくりが推進されている。</p> <p>平成27年度は、引き続き2地区（神田、余呉）で生活支援ボランティア団体の活動が展開された。特に買い物送迎サービスについては、毎月ほぼ定員となっており、地域の高齢者の暮らしに定着した活動となっている。</p> <p>今後も活動の紹介や住民研修会などによる周知活動を実施することで、活動への住民理解と協力を深めることが求められる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
地区件数 (件)	未実施	2	2			3												
<p>○実施状況報告</p> <p>日常生活を送るうえで様々な生活課題や不便さを感じる方に対し、地域住民同士の生活支援ボランティア活動の育成と活動の支援を行います。</p> <p>現在は神田地区と余呉地区で活動の取り組みが進められており、活動の充実を目的として活動用具の貸与、保険加入、活動者研修会や運営費の援助等の助成を実施しています。</p> <p>【事業報告シートp21】</p>	主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援ボランティア活動団体の取り組みが充実され、生活課題を抱えても自立した生活が続けられる地域づくりの推進が図られている。 生活支援活動に対する住民の理解が進むことで、ボランティア活動の活性化が見られる。 未実施地区においても、研修会や意見交換を行う事で、地区ごとの生活課題の把握や解決に向けた取り組みなどの検討が進められている。高月地区や虎姫地区などでも、生活支援活動について、地区の方向性や具体的活動の検討が行われている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに多くの地域住民に対し、生活支援ボランティア活動の必要性の理解を進める取り組みが必要である。 未実施地区での生活支援ボランティア活動団体の立上げ支援の充実が求められる。 																
	主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアさんが「ここだけ手伝ってほしい」という作業をしてくれるので、あとは自分で畑の維持をすることができてありがたいです。（畑作業を依頼したひとり暮らし高齢者） バスで買い物に行くと行き来に時間がかかり、生ものや重いものは買えないが、買い物ツアーのときは何でも気にせず買うことができうれしい。（買い物ツアーに参加した高齢者） 作業を頼むと顔見知りの方が来てくれる。安心して頼むことができる。（作業を依頼した高齢者） 商品を自分の目で見て、手に取って選んで買い物がしたいので、連れて行ってもらえてうれしいです。（買い物ツアーに参加した高齢者） まだまだ地域のために住民のためにできることがあると思います。活動回数を増やす、活動内容の幅を広げていくなど検討していきたいです。（ボランティア活動者） 以前より出ていた住民の困りごとを解決できるよう、神田や余呉の活動から学び、自分たちの支援の仕組みを作っていきたいです。（日常生活支援について検討している地区住民） 自分たちの地域は、自分たちの手でなんとか守っていきたい、そのためにも、神田や余呉の活動を参考にしたいです。（日常生活支援について検討している地区住民） 																

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
おせんごんの地域づくり	1-②健やかな成長と自立を育む地域づくり	<p>【ひきこもり者等居場所づくり事業】</p>	評 価	【B】おおむね達成できている														
		<p>○事業目的 不登校者、ひきこもり者等が人と交流するための支援として、ひとりひとりの様子に合わせた過ごしやすい居場所づくりや、自分を見つめる機会と時間をもつことで自立した生活へつながること、また、当事者同士の交流による支えあいの広がりを目的として実施します。 加えて、当事者家族同士のつながりづくりと情報交換の場としての役割も担っていきます。</p> <p>○ひきこもり者等居場所 参加者数</p> <table border="1" data-bbox="365 730 1359 863"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数 (名)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>116</td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	参加者数 (名)	-	-	116			150	評価コメント	<p>ひきこもり当事者に対し、外出するきっかけとしての居場所を提供することで、他人との交流や社会参加等の機会づくりが推進されている。また、ひきこもり当事者だけでなく、その家族に対する居場所づくり等をとおして、地域で孤立しがちな当事者家族へのつながりづくり支援となっている。</p> <p>平成27年度は、関係機関との連携、研修会や家族交流会の開催により対象者への周知案内をおこなうことで一定の参加を得ることができた。</p> <p>「ひきこもり」という地域課題が正しく地域住民に理解されるよう、機会を積極的に設けることが求められる。一人ひとりの「変化」が地域の「変化」となり、誰もが住みやすいまちづくりへつながっていくことが期待できる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		参加者数 (名)	-	-	116			150										
<p>○実施状況報告</p> <p>対 象：不登校の生徒・学生さんや30代くらいまでのひきこもりの若者とその保護者</p> <p>内 容：○当事者と家族の居場所づくり「えんかふえ」 ひきこもり者とその家族の居場所づくりを、当事者と家族の主体的な意見を基に実施しています。 開催頻度：月1回 参加費：無料 当事者：カードゲームやテレビゲームなどのレクリエーションや、みんなでやりたいことを一緒に話しあって計画し、気楽に過ごすことができる居場所づくり 家 族：保護者同士の交流会、情報交換会などによるつながりづくり</p> <p>○ひきこもりに関する研修会の開催 地域住民やひきこもり者家族を対象とした、ひきこもりに対する理解を進める研修会を開催しています。</p> <p>○ひきこもり者家族の会支援 市外研修会の参加支援、活動周知支援などを実施しています。</p>	主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 居場所づくりをとおして、ひきこもり当事者の社会参加促進と交流の機会づくりができています。 ひきこもり当事者だけでなく、家族間のつながりや情報交換といった家族への支援活動が取り組まれている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員および専門機関等との連携による対象者への呼びかけや居場所づくり等へのつなぎの支援が求められる。 ひきこもりに対する地域住民の理解と関心を高め、地域の雰囲気づくりの促進が求められている。 																
<p>【事業報告シートp. 22】</p>	主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 月に一回でも外出の機会があると「世の中とつながっている」と思えて気が楽になります。（ひきこもり当事者） ここでは名前や住所などの個人情報を言う必要がないので、本当に気が楽です。（ひきこもり当事者） 本人だけでなく、家族も一緒に過ごすことができるので、安心して参加することができます。（ひきこもり者家族） えんかふえでの出来事を話してくれるようになり、少しずつですが家族の会話が増えてきたので嬉しく思っています。（ひきこもり者家族） 「ひきこもりは本人や家族に問題があるのではなく、社会の変化が大きな要因である」という話を聞き、ひきこもりに対する考え方が変わりました。（ひきこもりに関する研修会参加者） 今まではひきこもり当事者や家族のつながりづくりありませんでしたが、外出や交流の機会のおかげで、声かけや支援がスムーズになりました。（保健師） 当事者とその家族が一緒の空間で過ごすということに驚きましたが、そのほうが当事者も落ち着いている様子が見受けられ安心しました。（保健師） 																

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おとなびの地域づくり	1-③ 見守りや支えあう地域づくり	<p>福祉委員支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号2参照</p> <p>事業目的 福祉委員による見守り活動を推進するため、各地区や自治会に設置された福祉委員活動を支援し、未設置地区・自治会への取り組みを促進します。</p> <p>○設置自治会数・率</p> <table border="1" data-bbox="365 443 1362 674"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (自治会)</td> <td>191</td> <td>202</td> <td>203</td> <td></td> <td></td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>44.8</td> <td>47.4</td> <td>47.6</td> <td></td> <td></td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告</p> <p>地域福祉活動のリーダー的存在として福祉活動に取り組む福祉委員を支援することで、地域住民で見守り支えあう地域づくりを推進しています。</p> <p>自治会や地区社協（福祉の会）での積極的な取り組みを進めるため、地域福祉コーディネーターによる活動相談や研修会を開催しています。</p> <p>【事業報告シートp. 24】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (自治会)	191	202	203			238	率 (%)	44.8	47.4	47.6			56	<p>評 価</p>	<p>【B】 おおむね達成できている</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		自治会数 (自治会)	191	202	203			238																	
率 (%)	44.8	47.4	47.6			56																			
<p>評価コメント</p>	<p>地域における見守りや支えあい体制の必要性の認識が高まっており、福祉委員を新たに設置、検討する自治会が徐々に増えてきている。平成27年度は、さらなる活動の拡充をめざして地域福祉サポーター養成講座を実施し、地域福祉の担い手の育成に取り組むことで、地域の見守り活動やふれあい、交流活動への関心を高める取り組みが進められた。</p> <p>今後も、福祉委員が身近な地域福祉活動の中心的存在として活動できる支援や新規設置支援が求められている。また、民生委員児童委員との情報交換会や他地区の福祉委員との交流会など積極的な働きかけが重要である。</p>																								
<p>主な事業成果 および課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉委員がサロン活動や見守りの活動を行うことで、地域住民主体の地域づくりが促進されている。 地域の研修会や情報共有の機会をつくることで、福祉委員活動の充実や設置の推進が図られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員など地域の福祉関係者と連携できる機会を増やしていく。 活動年数別の研修プログラムを実施するなど、福祉委員活動のさらなる充実の検討が必要である。 																								
<p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員に任命されたが何をしたいかわからなかったため、養成講座に参加しました。講座に参加していた他地区の福祉委員さんと交流したり、地域福祉コーディネーターと相談していく中で、職務に対して気楽に向き合えるようになり、肩の力が抜けました。 (福祉委員) 福祉委員制度を導入したいと考え、福祉委員に興味を持つ住民の方と一緒に養成講座に参加しました。地域福祉コーディネーターと相談しながら導入に向けて動いていきます！ (地区社協会長) 自治会に福祉委員を導入しようと考えています。自治会の実情にあった福祉委員のあり方を模索していきたいです。(自治会長) 複数の地区を兼務しており、とても一人では見守りできないと悩んでいました。しかし、各地区の福祉委員さんと連携するようになってから随時情報を頂けるので助かります。 (民生委員児童委員) 情報交換会に参加することで、他地区の民生委員・福祉委員の動きを知ることができ、また課題の共有もできるので、以後の活動に役立っています。(福祉委員) 遠方に住んでいるため、なかなか両親の様子を見に行くことができませんが、福祉委員さんに見守っていただけるので安心です。(高齢者夫婦のみ世帯の娘) 福祉委員は1年任期のため、連携が取れだした頃に次の人と交代してしまうのもったいないです。(1年任期の自治会の民生委員児童委員) “福祉委員”という職務にやりがいを感じていますが、住民の認識も様々で活動しにくいと思うこともあります。地域を越えて情報交換できる場所はありませんか。(福祉委員) 																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おせせの地域のつくりかえ	1-③見守りや支えあう地域のつくりかえ	<p>地域除雪支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号46参照</p> <p>事業目的 自治会内での除雪活動を推進し、高齢者世帯やしょうがい者世帯の生活道路の確保や安全確保につなげます。</p> <p>○支援自治会数・率</p> <table border="1" data-bbox="368 445 1365 676"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (自治会)</td> <td>—</td> <td>61</td> <td>66</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>—</td> <td>14.3</td> <td>15.4</td> <td></td> <td></td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>※支援率 分母 425 自治会 要援護者登録世帯数 平成26年度 1,028 世帯 平成27年度 1,453 世帯 除雪支援活動者登録数 平成26年度 1,087 名 平成27年度 1,221 名</p> <p>○実施状況報告 要援護者世帯等（高齢者世帯およびしょうがい者世帯等）に対する地域の除雪活動を支援（傷害保険加入、小型除雪機貸出）し、地域の見守り支えあいの活動を推進しています。（平成26年度新規事業） 【事業報告シートp. 25】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (自治会)	—	61	66			250	率 (%)	—	14.3	15.4			59	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p>【B】 おおむね達成できている</p> <p>地域の除雪支援活動をととして要援護者世帯に対する地域の見守り支えあいの体制作りが進められている。66自治会で取り組みが展開され1,450件を超える要援護者世帯への除雪活動、見守り活動が展開された。昨年に比べ特に旧長浜地域での登録要援護者世帯数および支援者数の増加がみられた。要援護者世帯に対する地域の見守り支えあいの体制づくりの輪が広がっている。 今後さらに取り組む自治会を増やし降雪時においても誰もが安心して生活できる地域の基盤づくりの推進が求められる。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会内の高齢者やしょうがい者等の生活の安心・安全確保と向上を図るとともに地域で支えあう体制支援が図られた。 旧長浜での加入が多くみられ、除雪活動を通じた地域住民同士の支えあい活動が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組む自治会が市全域に広がるよう各自治会への周知、推進が求められる。 <p>・除雪活動の保険加入があるおかげで万が一のけがも保障してもらえるので安心して除雪活動に取り組むことができます。（自治会長）</p> <p>・今年は降雪量が少なかったため、除雪出動がなかったですが、自治会で高齢者やしょうがい者世帯を見守るきっかけになりました。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		自治会数 (自治会)	—	61	66			250																	
率 (%)	—	14.3	15.4			59																			

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おむね達成の地域への見守り支援	1-3 見守り支援	<p>ふれあい電話事業 地域福祉活動事例集 事例番号21参照</p> <p>事業目的 市内のボランティアの協力のもとに、自宅に電話をかけ、季節の話や健康のことなど身近な話題についてお話しし、あたたかい声かけと安否の確認を行います。</p>	評価	【B】おおむね達成できている																					
		<p>○利用者数・実施（相談）件数</p> <table border="1" data-bbox="365 443 1362 680"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>119</td> <td>111</td> <td>105</td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>実施件数（件）</td> <td>2,366</td> <td>2,357</td> <td>2088</td> <td></td> <td></td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	利用者数（人）	119	111	105			150	実施件数（件）	2,366	2,357	2088			2,700	評価コメント	<p>ボランティアとの電話での対話をとおして、利用されている一人暮らし高齢者やしょうがい者の安否確認や社会的孤立の軽減が進められている。また、必要に応じて、民生委員児童委員やケアマネージャー・地域包括支援センターなどの福祉関係者・機関と連携することで、包括的な見守りにつなげる取り組みが推進されている。</p> <p>福祉関係者・専門機関をとおして事業の周知と新規登録者の開拓を行っているものの、登録者数は減少傾向にある。各地区の行事やサロン（一人暮らし高齢者のつどい等）の参加者に声掛けを行うなど、新規登録につなげる取り組みが必要である。</p>
		年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
利用者数（人）	119	111	105			150																			
実施件数（件）	2,366	2,357	2088			2,700																			
<p>○実施状況報告</p> <p>一人暮らし高齢者等の方に対して、ボランティアが安否確認や日常生活での出来事・悩みなど身近な話題について傾聴することで、事業登録者の社会的孤立感の解消と地域での見守りを目的としている。また、ボランティアを対象とした研修会を年2回実施し、傾聴の姿勢や相談の質を高める取り組みを進めている。毎年、第二回研修会では事業登録者への年賀状を作成し、その後ボランティア同士の交流会を行っています。</p> <p>新規登録者：3人 脱退者：9人（死亡、施設入所、転居による）</p> <p>【事業報告シートp. 26】</p>	<p>主な事業成果および課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話であるからこそその相談や対話があり、安否確認をとおして登録者とボランティアの信頼関係が生まれている。 電話での対話を通じて、高齢者の不安や孤独感の軽減につながっている。 ふれあい電話ボランティアに対する研修会や交流会を実施することで、コミュニケーション技術の向上や横断的なボランティアグループの交流が生まれている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者数が減少傾向にある中で、利用者拡大に向けて新たな対策を考えていく必要がある。 																							
	<p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>誰とも話さない日が多いので、電話が掛かってくるのが楽しみです。（ふれあい電話登録者）</p> <p>誰かに気にかけてもらえているのだと思うとうれしいです。（ふれあい電話登録者）</p> <p>家族や近所の人に話せないことも、ふれあい電話でなら話せます。（ふれあい電話登録者）</p> <p>自分の気持ちが相手に通じるよう、まごころ込めて傾聴するようにしています。（ふれあい電話ボランティア）</p> <p>電話だから相談できることもあります。だから、ふれあい電話は大切な事業だと思います。（ふれあい電話ボランティア）</p> <p>男性の登録者から、おかずの作り方などを訊ねられる時もあります。気軽に聞いていただき、頼りにされていると思うとやりがいも感じます。（ふれあい電話ボランティア）</p> <p>足腰が悪くサロンに参加しにくい一人暮らしの高齢者に、この事業を案内し登録したところ、後日「電話が掛かってくるのを心待ちにしています」とのお声を頂きました。（民生委員児童委員）</p>																							

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																																												
おこしや地域の活動	1-3 見守りや支えあひ地域づくり	<p>地域見守り活動推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号3参照</p> <p>事業目的 要援護者を対象に、万が一の災害時や日ごろから地域での見守り活動を推進し、たすけあひ・支えあひの基盤・関係づくりを促進します。</p> <p>○取組み支援自治会数・率</p> <table border="1" data-bbox="368 457 1359 684"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (件)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>4.4</td> <td></td> <td></td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※取組み率 分母 425 自治会</p> <p>○実施状況報告 自治会内の見守り活動を支援し、体制の充実と住民意識の向上に努めています。 長浜市の「避難支援・見守り支えあひ制度」を活用した情報管理や、自治会内の見守り活動情報をマップ化する「防災・福祉マップ作り」など、見守りと支えあひの地域づくり活動を行っています。 自治会支援実績 平成27年度 自治会数：12 自治会 支援回数：88回 参加者数：781人</p> <p>○啓発活動・研修会等の開催（地区別）</p> <table border="1" data-bbox="368 1134 1359 1360"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>19</td> <td>33</td> <td>34</td> <td></td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>実施地区 (%)</td> <td>60</td> <td>73</td> <td>67</td> <td></td> <td></td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実施地区率 分母 15 地区 ※実施地区数は同地区内で複数開催している場合もあるため、実施回数と一致しません。</p> <p>○実施状況報告 参加者数：1,654人 活動自治会に対して、見守り活動の情報更新や先進地事例の紹介、意識向上のための学習会等を実施することで活動の充実に努めています。 また、見守り活動の啓発研修を実施することで、新たな自治会での活動の呼びかけを行い、更に多くの地域での活動を推進しています。</p> <p>【事業報告シートp.28】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (件)	11	11	19			20	率 (%)	2.5	2.5	4.4			4.7	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	19	33	34			27	実施地区 (%)	60	73	67			67	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																						
		自治会数 (件)	11	11	19			20																																						
率 (%)	2.5	2.5	4.4			4.7																																								
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																								
実施回数 (回)	19	33	34			27																																								
実施地区 (%)	60	73	67			67																																								
評価コメント	<p>見守り活動と防災活動をつなぐことで、自治会や地域の防災と福祉への関心を高めた活動が展開できている。 平成27年度は12自治会での取り組みを進め、延べ88回の研修会等を実施し、見守り活動に対する関心の高まりや次活動意欲の向上が図られた。 住民同士による見守りの仕組みづくりは、災害時だけでなく日ごろから安心して地域で暮らせるための仕組みをつくるため、今後も継続した取り組みが必要である。</p>																																													
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長浜市避難支援・見守り支えあひ制度の推進を目的として、「命のバトン（見守り情報収納ケース）」や「防災・福祉マップ」を活用することで、自治会単位の見守りや支えあひの関係づくりが促進されている。 見守りや支えあひの基盤となる自治会に応じた方法で、たすけあひや支えあひの取り組み方法や活動について話しあう機会ができており、住民の主体的な関わりで、地域の安心感や暮らしやすさを支える仕組みづくりができている。 見守り活動の意識啓発フォーラムが開催され、新たに取り組みを行う自治会への呼びかけが実施されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会での見守り活動の推進には自治会役員や民生委員児童委員との連携は不可欠であり、丁寧な呼びかけや取り組みの支援が求められる。 																																													
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 「命のバトン（見守り活動情報収納ケース）」や「防災・福祉マップ」は、いざという時だけでなく、日ごろの住民間の支えあひの意識向上にも役に立っています。 (見守り活動に取り組んだ自治会の自治会長) 住民同士の支えあひ体制ができたことで、ひとりひとりの負担感なく、見守りや声かけが出来るようになりました。(見守り活動に取り組んだ自治会の民生委員児童委員) これからの地域の暮らしには、近隣の見守りや支えあひが、ますます必要な活動になってくると思います。(見守り活動に取り組んだ自治会の女性役員) ゲームや体験学習をとおして、近所のおつきあひの大切さなどを学ぶことができました。 (出前講座参加者) フォーラムに参加し、これから自分の自治会で見守り体制について民生委員さんたちと考えていきたいと思いました。(見守り活動フォーラムに参加した自治会長) 命のバトンのような取り組みがあることを知りませんでした。これがあると私も安心できます。(命のバトンを設置した要援護者) 自治会運営に忙しく、見守り活動の必要性は理解していてもなかなか取り組むことができない(自治会長) 																																													

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																	
おたけの地域づくり	1-③ 見守り支援あう地域づくり	歳末たすけあい運動 地域福祉活動事例集 事例番号7参照		評価	【B】 おおむね達成できている														
		事業目的 地域のたすけあいやささえあいの活動を広げ、だれもが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、各事業を実施します。		評価コメント	平成27年度においても、地域住民や民生委員児童委員、福祉団体等との連携と協働により、支援を必要している方々を地域であたたかく見守る運動が展開された。 地域住民の協力が不可欠な事業であり、内容の周知と理解を深める機会をつくる必要がある。また、民生委員児童委員と連携し地域ニーズの把握や福祉課題の整理を行うことで、歳末たすけあい運動の理念に沿った活動の展開を図っていくことが求められている。														
		○歳末たすけあい運動 実施件数 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数 (件)</td> <td>1,917</td> <td>1,824</td> <td>1758</td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施件数 (件)	1,917	1,824	1758			2,000	主な事業成果 および課題	【成果】 ・民生委員児童委員をはじめとした福祉団体や組織との協働・連携の取り組みにより、地域ニーズに応じた活動を展開することで、支援を必要とする人たちの孤立感の緩和や地域の交流活動が進められた。 【課題】 ・歳末たすけあい運動の意義や理念が、戦後の生活困窮者支援を中心とした活動から、誰もが地域の中で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指していくことになりつつある中、市民のより一層の運動に対する理解と関心を高めることができる仕組みづくりが求められている。
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30											
実施件数 (件)	1,917	1,824	1758			2,000													
○実施状況報告 “みんなでささえあうあたたかい地域づくり”をスローガンに、支援を必要とする方たちが新年を迎えるにあたって、住み慣れた地域で健康に暮らせよう実施しています。 地域住民の協力（募金）が必須であり、引き続き事業への理解と周知拡大を図ります。 ○実施事業 ・一人暮らし高齢者等そうじ支援事業 233件 ・歳末おせち料理配食事業 1,121件 ・特別支援学級等学用品支援事業 248名 ・要保護世帯図書カード支援事業 71名 ・福祉施設・団体等歳末行事支援事業 35件 ・小児病棟クリスマス訪問事業 50名 ・緊急食糧給付事業		主な参加者・住民の 評価・声	・来年の高校受験に向けて「図書カードで参考書を買う」と子どもが意気込んでいました。（図書カード支援を受けた子どもの保護者） ・一人で過ごす年末は寂しいものですが、今年は民生委員さんが様子見を兼ねておせち料理を持ってきていただき、ありがたかったです。（おせち料理配食を受けた一人暮らし高齢者） ・身体が思うように動かず、あまり掃除もできていなかったのですが、支援していただき、清々しい気持ちで新年を迎えることができました。（そうじ支援利用の一人暮らし高齢者）																
【事業報告シートp. 29】																			

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
おかせんりの地域へ	1-3 見守り支援の地域づくり	<p>総合相談・よろず相談事業 地域福祉活動事例集 事例番号34参照</p> <p>事業目的 専門相談員による生活相談所を開設・運営し、地域住民の身近な相談機関として日常生活上の悩みや心配ごとに対応し信頼感と親しみある相談窓口を提供します。</p> <p>○よろず相談・法律相談 相談件数</p> <table border="1" data-bbox="362 457 1359 688"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数（件） 【よろず】</td> <td>337</td> <td>246</td> <td>254</td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>相談件数（件） 【法律】</td> <td>72</td> <td>132</td> <td>113</td> <td></td> <td></td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 日常生活の悩みや心配ごとに対する相談を受けることで、市民の身近で気軽に相談できる事業として開催しています。 また、専門的な相談に対応するため、弁護士による法律相談を開催し、幅広い市民の生活相談に応じています。 【事業報告シートp. 30】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数（件） 【よろず】	337	246	254			400	相談件数（件） 【法律】	72	132	113			144	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		相談件数（件） 【よろず】	337	246	254			400																	
		相談件数（件） 【法律】	72	132	113			144																	
評価コメント	<p>質の維持・向上などによる体制整備や周知・啓発の取り組みにより生活上の悩みや心配ごとが相談できる身近な窓口と、専門的な相談に応じることができる窓口という認識が少しずつ高まってきている。</p> <p>平成27年度は、離婚問題や財産に関する問題、家庭内に関する問題を抱えた相談が多く見受けられ、各専門機関へのつなぎや連携の必要性が高まっている。</p> <p>広報での周知や関係機関への周知をより一層推進し、地域住民の身近な相談所となるよう認知度の向上と専門機能の強化を図ることが求められている。</p>																								
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面化していない様々な相談に初期段階で対応することにより他機関への連携を促すなど市民の不安や困りごとを解消へ導く手段の一つとなりつつある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の認知度をさらに高めるために運営方法や周知・啓発の取り組み方法の再検討が求められる。 																								
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> どこに相談して良いか分からなかったが親身に相談を聞いていただき、専門的に対応いただける相談機関を紹介していただけだったので相談に来て良かった。（相談者） 弁護士に相談するのは敷居が高いと思いついていたが、無料で相談をすることができたことで、問題を早期に解決することができました。（相談者） 																								

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																																					
おおむね達成している 1-3 認知サポートセンターが地域福祉	③	<p>権利擁護センター事業（後見サポートセンター） <small>地域福祉活動事例集 事例番号32～33参照</small></p> <p>事業目的 判断能力等の低下により、福祉サービスの適切な利用や日常生活に支援が必要な方に対して、成年後見制度の適切な利用や地域福祉権利擁護事業により日常生活支援を実施します。</p> <p>○成年後見援助件数・権利擁護利用者数、支援回数</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1359 945"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受任件数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>援助回数（回） 【後見】</td> <td></td> <td>188</td> <td>331</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人） 【権利擁護】</td> <td>194</td> <td>211</td> <td>211</td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>支援回数（回） 【権利擁護】</td> <td>6,893</td> <td>7,974</td> <td>8,765</td> <td></td> <td></td> <td>8,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 認知症や知的・精神しょうがい等により、判断能力の低下または不十分な方が地域で安心して生活できるように、成年後見業務の受任と地域福祉権利擁護事業の実施、成年後見制度利用に関する相談、普及啓発活動、利用申請支援等を実施しています。</p> <p>・主な事業内容 成年後見サポートセンター事業（相談・利用申請支援・広報啓発活動） 地域福祉権利擁護事業 法人後見事業</p> <p>【事業報告シートp. 30】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	受任件数	1	2	8			20	援助回数（回） 【後見】		188	331			250	利用者数（人） 【権利擁護】	194	211	211			230	支援回数（回） 【権利擁護】	6,893	7,974	8,765			8,700	評 価	<p>【B】おおむね達成できている</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																															
		受任件数	1	2	8			20																															
		援助回数（回） 【後見】		188	331			250																															
利用者数（人） 【権利擁護】	194	211	211			230																																	
支援回数（回） 【権利擁護】	6,893	7,974	8,765			8,700																																	
評価コメント	<p>権利擁護に関する身近な相談支援機関としての機能が整備され、成年後見等相談支援回数や法人後見受任件数が増加している。</p> <p>平成27年度は、市民を対象に成年後見・権利擁護サポーター養成の取り組みを進め、23名が受講し制度の普及啓発に重点を置いた取り組みを進めることができた。11名の受講修了者がセンター登録し、普及啓発活動を中心とした住民の主体的な取り組みの基盤整備が進められた。</p> <p>窓口での相談業務と併せて専門職が福祉施設に出向いて出張相談を行うなど、アウトリーチによる柔軟で相談者に寄り添った活動が展開されている。</p> <p>また、地域福祉権利擁護事業については、利用者の多様化する課題に対応するため、専門機関との連携・協働による支援を中心に置いた支援が展開できている。</p>																																						
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判断能力が不十分な方の権利を守り、地域で安心して生活が送れるよう基盤整備が進められている。 センターとともに制度の普及・啓発や相談などの活動に従事できる人材の育成を目的としたサポーター養成講座が開催され、制度の適切な理解が深められた。 日常生活の困りごとに対し、各専門機関と協働しワンストップの問題解決に向けた相談会が実施できている。 行政や関係機関と連携を深めることを目的とした取り組みが行われている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> サポーター養成講座を修了し、センター登録した11名の受講終了者が、知識を生かし地域で活動できる機会とさらに知識を深められる取り組みが求められる。 																																						
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップの相談会に参加し、今後の方づけが明確になりました。アドバイスいただいた内容を検討して問題が解決できるように進めていきたいです。丁寧に相談を聞いていただきありがとうございました。（相談した市民） 身近なところに相談できるセンターができたことで、制度の利用が望ましい方を適切につなげることができるようになりました。（行政） 金銭管理等をやっているが、裁判所への報告でよくわからないところを教えてもらえて、助かりました。（親族後見人） 自己決定支援に関しては十分できていないのが現状です。今日の研修をもとに今後本人との会話の中で傾聴し、求めている事を明らかにしていきたいです。（介護支援専門員） 																																						

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況		
だしかいなのびん	2 ① 参加と交流を育む環境づくり	<p>福祉教育推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号31参照</p> <p>事業目的 体験学習・ボランティア活動等を通し福祉への理解と関心を深め、思いやりの心や命の大切さを育てるとともに地域とともに支えあう関係づくり・意識を高めます。</p>	評価	【A】達成できている
		○福祉教育実施件数	評価コメント	体験学習やボランティア体験をとおして福祉への理解や関心を深める活動が推進され、教育機関、仕事や暮らしの場などで257件の福祉教育が展開された。 平成27年度は、しょうがい当事者団体に対して、地域の中でともに地域課題の解決に向けた取り組みを推進していく必要性を福祉教育に取り込み、課題解決に向けたボランティア活動への参画を促進することが図られた。
		○実施状況報告 市内の小中学校や高等学校、企業、自治会等に対して、様々な福祉教育のプログラムを企画、実施し、「命」の大切さや「思いやり」「たすけあい」の心を育てることで、福祉への理解を深め、ともに支えあう関係づくりや意識づくりに取り組んでいます。 【主な福祉体験プログラム】 ・アイマスク体験・要約筆記体験・車いす体験・高齢者疑似体験・各種ボランティア体験等 【事業報告シートp. 34】	主な事業成果および課題	【成果】 ・教育機関等に対して福祉教育プログラムを提供することにより、市内30校が福祉教育の取り組みを進め、体験をとおした学びや福祉に対する理解と関心が高まってきている。 ・自治会や企業で福祉教育を実施することにより、地域の課題解決のきっかけとなりうるように共に考え、参加者同士が意見交換・交流することで福祉に対して理解や関心を深めることにつながっている。 【課題】 ・学校や地域の実情に応じた福祉教育プログラムの開発と対応が求められる。
			主な参加者・住民の評価・声	・教員ではできない専門的なことを、分かりやすく話していただき、私たちも気づきや発見がありました。(小学校教員) ・福祉教育の車イス体験は、子どものためと思って参加しましたが、実際体験を行うと気づくことがたくさんありました(親子で体験参加) ・授業の中にありました「ふくしはふだんのくらしのしあわせ」という言葉は、とてもいい表現です。これからも子どもに伝えていきたいです。(中学校教員) ・視覚にしょうがいがあっても、ひとりでできる工夫をされていることが分かった。(小学生) ・高齢者疑似体験をして、体が重く大変でも僕たちのために、登下校の見守り隊活動をしてもらっている。これからは進んでお手伝いしたいと思います。(小学生) ・普段の暮らしの中で、なかなか考えることの少ない“福祉”について、いろいろな体験を通じて考えるきっかけとなりました。(自治会参加者)

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしかいなの人づくり	2-① 参加と交流を育む環境づくり	<p>福祉出前講座 地域福祉活動事例集 事例番号16参照</p> <p>事業目的 福祉出前講座をととして、福祉に関する知識や技術を習得し、特技を活かしたボランティア活動や地域福祉活動を担う人材の育成を促進します。</p>	評価	【B】おおむね達成できている														
		<p>○講座開催数（技術習得）</p> <table border="1" data-bbox="362 499 1359 640"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	5	21	26			40	評価コメント	<p>平成27年度は、昨年度以上に専門知識や介護技術習得の学習会・研修会が各地域で取り組まれた。小地域サロンでの介護予防講座の要望が多く、住民の身近な福祉や介護学習の場として、福祉に関する知識と技術習得、地域人材の育成が推進されている。</p> <p>今後も地域ニーズに応じたプログラム開発が求められている。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		実施回数 (回)	5	21	26			40										
<p>○実施状況報告</p> <p>専門知識および技術を持った社会福祉協議会職員が講師となり、地域住民が福祉活動を身近に感じてもらえるような講座を開催し、地域福祉活動を担う人材を育成しています。</p> <p>【事業報告シートp. 35】</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民が介護予防に取り組むきっかけとなっている。 地域の福祉課題にあわせたプログラムが再構築され、さらにわかりやすい認知症や転倒予防など身近に感じやすい内容となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズにあったプログラムの開発が求められる。 																
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 新しい介護保険制度について、わかりやすく教えていただき、少し意識が変わりました。（講座受講者） 認知症や介護などは、他人ごとではなく将来的には自分のことでもあるので、今からできることをするきっかけになりました。（講座受講者） 実際に認知症に家族がなったりしないと実感はわかかなかったが、近所の人認知症かなと思ったら、その人を地域で支えることができるようこれから考えていきたいです。（認知症講座受講者） 																

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
だしかいなの人づくり	2-① 参加と交流を育む環境づくり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボランティア養成講座 地域福祉活動事例集 事例番号25参照</p> <p>事業目的 ボランティア活動に必要な技術等を学び、地域福祉活動・ボランティア活動に関わりを持つきっかけと生きがいを促進します。</p> </div>	評価	【A】達成できている																					
		<p>○講座開催数・受講者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>受講者数 (人)</td> <td>539</td> <td>828</td> <td>981</td> <td></td> <td></td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	講座数	6	7	10			6	受講者数 (人)	539	828	981			600	評価コメント	<p>ボランティアに関心を持つきっかけ講座や、ボランティア活動団体(者)の充実を目的とした講座の開催が活性化している。また暮らしの課題の解決に向けた講座を開催することで、ボランティア活動に参加する意欲向上につながっている。</p> <p>平成27年度は、10講座981名が受講し多くの受講生がボランティア活動参加者につながっている。また、講座終了後ボランティアグループへの加入を図ることで、ボランティア活動に定着しやすい支援体制が整備されている。</p> <p>今後も地域ニーズや社会的課題に対応したボランティア養成講座を実施し、ボランティア活動に対する関心を高めることが求められる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
講座数	6	7	10			6																			
受講者数 (人)	539	828	981			600																			
<p>○実施状況報告</p> <p>しょうがいへの理解、ボランティア活動の理解、子どもや親子等を対象とした福祉テーマ型のボランティア講座を開催することで地域の福祉活動やボランティア活動への取り組みのきっかけづくりを推進しています。</p> <p>また、ボランティア講座をとおして、ボランティア活動者のスキルアップや活動環境の充実を図っています。</p> <p>【事業報告シートp. 36】</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の受講後、ボランティア活動を始めたい人に対し、活躍しやすい環境が整っている。 ・ボランティア活動者がいきいきと活動されることで、生きがいづくりにつながり、地域のキーパーソンとして役割を担う人材育成につながっている。 ・養成講座をとおして、新たなボランティアグループの立ち上げや、既存のボランティアグループの活動者が増えたことで、安定したボランティア活動の基盤づくりが推進されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの課題に着目し、市民全体で解決に向けた取り組みが進められるよう福祉意識の啓発につながるボランティア講座の開催が求められている。 																							
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座に参加し、自分にできるか不安でしたが、活動者の先輩に助けていただき楽しく活動しています。(講座終了後ボランティアグループに加入された受講者) ・昨年申し込んだ講座が満員で、1年間待って今年講座に参加できました。すごく楽しくて大満足です。(受講者) ・もっと早くボランティア講座に応募し、受講すればよかった。(受講者) ・ボランティア講座ってもっと難しく、敷居が高いと思っていましたが、誰でも参加できると参加してよくわかりました(受講生) ・今後もステップアップ講座を開催してもらいたいと意欲的(受講生) ・仕事を退職しチラシを見て参加しました、新しい出会いに感謝しています。(受講生) 																							

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																													
だ し か い な の 人 ぐ ら う	2 ① 参 加 と 交 流 を 育 む 環 境 づ く り	<p>広報啓発事業 地域福祉活動事例集 事例番号5参照</p> <p>事業目的 福祉・介護に関する情報や地域の福祉活動を紹介・提供することで、市民の関心に合わせた地域福祉活動に参加できるよう広報誌の発行・ホームページの運用をおこないます。</p> <p>○広報紙・ボランティア情報紙発行回数</p> <table border="1" data-bbox="368 541 1365 865"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発行回数（回） 【広報紙】</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>発行回数（回） 【ボランティア】</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>Facebook 更新</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62</td> <td></td> <td></td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 市内全戸配布の広報誌、ボランティア活動者向けの情報誌の発行とホームページを運営し、福祉情報の提供や福祉活動の取り組み紹介などを行うことで、福祉意識の向上と地域福祉活動への参加促進を目的としています。 ボランティア活動などに対する必要な情報を提供し、事業参加の呼び掛けや、ボランティア活動のきっかけづくりに取り組んでいます。 また、より身近で高頻度に地域福祉に関わる情報を発信することを目的に、Facebook ページを開設し情報の発信に取り組んでいます。 【事業報告シートp. 37】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	発行回数（回） 【広報紙】	4	4	4			4	発行回数（回） 【ボランティア】	14	18	19			15	Facebook 更新	—	—	62			50	<p>評 価</p> <p>【A】達成できている</p> <p>評価コメント</p> <p>福祉情報の発信をとおして、地域福祉やボランティア活動に対する市民の理解と関心を得ることで、新たな地域福祉・ボランティア活動の担い手の発掘につながった。 平成27年度は、Facebook ページを開設したことで、より身近で手軽に情報を得られるようになり、様々な世代、特に若年層が福祉活動やボランティア活動に関心を持つ機会がつけられた。 今後も住民への多様な情報発信ツールを検討し、効果的な広報活動に取り組むことが必要である。</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> Facebook ページ開設により、幅広い世代に地域福祉活動やボランティア活動が周知され、活動への参加者増加につながっている。 広報誌からサロン内容の情報を得ている代表者もあり、負担軽減につながっている。 イベントや事業に対し「広報紙を見て応募した」という参加者が増えており、広報紙を媒体とした情報提供の効果が表れている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙やインターネットを活用した、効果的な広報啓発活動の取り組みの検討が求められている。 <p>主な参加者・住民の 評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙に載っていたイベント（おもちゃ図書館）に興味があったので、参加しました。（地域住民） どこに相談すればいいのか悩んでいたところ、広報紙でよろず相談の記事を見かけ相談してみました。（地域住民） 夏休みのボランティア先を探していたら、広報紙で募集記事を見つけたので応募しました。（学生ボランティア） Facebook を見て、福祉のイメージが明るいものになりました。スマホで手軽にアクセスできるので「こんなイベントがあるんやなあ」と思いながら見えています。（地域住民） サロンのネタに困ったら、サロン情報紙をみています。簡単なレクリエーションが載っているので助かります。（サロン関係者） バタバタしているとボランティア保険への加入はつい忘れがちになりますが、ボランティア情報紙でインフォメーションしてくれるので助かります。（ボランティア団体代表者） 時期にあった情報も載っているので、読むのが楽しみです。（地域住民） 広報誌を読むことが、福祉について学ぶきっかけとなりました。（地域住民）
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																							
		発行回数（回） 【広報紙】	4	4	4			4																							
発行回数（回） 【ボランティア】	14	18	19			15																									
Facebook 更新	—	—	62			50																									

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしがいなの人づくり	2-① 参加と交流を育む環境づくり	<p>社会福祉大会 地域福祉活動事例集 事例番号15参照</p> <p>事業目的 福祉講演会・小地域福祉活動の実践者による活動報告・ボランティア団体の活動発表等を行うことで、市民の福祉に対する理解と関心を深め、地域でともに支えあう意識を高めます。</p>	評価	【A】達成できている														
		<p>○社会福祉大会参加者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>300</td> <td>362</td> <td>464</td> <td></td> <td></td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	参加者数 (人)	300	362	464			330	評価コメント	<p>市民の福祉活動や社会的課題に対する理解と関心を高める機会として取り組みが推進されている。</p> <p>平成27年度は「みんなでつくる認知症にやさしいまち地域で認知症を支えていくためには」をテーマに、認知症について学び、地域住民の支えあいを考える機会がつけられた。福祉活動団体や活動者に対して、新たな支援の取り組みの視点をつくることができた。</p> <p>また、市民の関心度の高い認知症について学ぶ（コグニサイズ）ことで、地域でともに支えあう地域づくりの推進が図られた。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		参加者数 (人)	300	362	464			330										
<p>○実施状況報告</p> <p>福祉講演会や地域福祉活動者の実践報告、社会福祉功労者表彰等をおして、また、市内のボランティアやしょうがい者作業所、介護事業所との連携によるブース運営を行うことで、参加者の福祉に対する理解と関心を深め、地域でともに支えあう意識を高める機会づくりに取り組んでいます。</p> <p>【事業報告シートp. 39】</p>	主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する理解と関心が高まり、地域でともに支えあう意識を高める機会をつくることができた。 認知症をテーマにしたことで、関心も大きく参加者の幅も広がった。大会をおして地域の支えあいの取り組みが広がり、地域でできる事の整理や気付く機会がつけられた。 																
	主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を重ねるにつれ認知症は、自分がどうなるかわからない。今後は自分の問題として、地域のみんなでできる支えあう事を考え、これからの活動に大いに生かしていきたいと感じました。（参加者：民生委員児童委員） 福祉講演会を聞いて勉強になりました。コグニサイズの体操よかった。（参加者） 今年も「福祉の絵」、「あったかハート標語」いいですね。（掲示されている絵の前で）親子で写真を撮られる姿に癒されました。（参加者） 																

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
だ し か い な の 人 づ く り	2 ② と も に 支 え あ い 頑 張 り あ え る 仲 間 づ く り (団 体	<p>福祉団体助成事業 地域福祉活動事例集 事例番号6参照</p> <p>事業目的 市内で活動する福祉団体が実施する福祉事業を支援することで福祉団体の育成、活動の促進を図ります。</p> <p>○支援事業数</p> <table border="1" data-bbox="365 457 1359 594"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>事業数 (件)</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> </tr> </table> <p>○実施状況報告 市内の福祉団体の活動や取り組みに対する相談をととして連携や協働の仕組みの構築や継続した事業展開の基盤（活動財源等の確保）を支援し、各福祉団体による主体的な福祉活動を支えています。</p> <p>【事業報告シートp.40】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	事業数 (件)	8	11	14			13	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		事業数 (件)	8	11	14			13										
評価コメント	<p>平成27年度は8団体・14事業に対する活動財源の支援を実施し、福祉団体の主体的な活動と様々な福祉課題に応じた取り組みが推進された。</p> <p>支援活動をととして福祉団体間の連携・協働体制の構築を図ることで事業の継続・拡充が進められている。</p>																	
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉団体活動を支援することで、活動の推進と団体運営の充実が図られている。 福祉活動団体と連携、協働することで様々なテーマ型の地域福祉が推進された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援する団体が固定されており、助成利用に向けて門戸を広くする必要がある。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 活動費をいただけたことで、事業実施数を増やすことができました。（福祉団体役員） 相談に乗ってもらい、充実した内容で活動できました。（しょうがい団体役員） 助成金を利用していつもより少し遠方の研修地に出かけることができました。いつもとは違う取り組みだったので、参加者から喜びの声をいただきました。（福祉団体役員） 一人暮らしの高齢者を対象に、毎月訪問活動を実施し、農家より提供いただいたもち米を使った山菜おこわやおはぎは大変喜んでもらい、協力者の励みになっています。孤独感・孤立感を和らげ安心して暮らしていただけるよう、お互いに話し合い、より良い活動をめざして取り組んでいます。（団体事務局） スポーツ大会を実施し高齢者の健康づくり、交流・新睦を図り、併せて交通事故防止の啓発も行いました。 地域の実情や課題の把握に努めました。地域における見守り支援、相談等日ごろの活動の充実を図りました。活動を地域の人々にPRし、活動しやすい環境づくりに努めました。研修等への積極参加を進めました。団体や関係機関、行政との連携に努めました。（団体事務局） 湖北地域2市17カ園から保育園児の絵画を展示。数多くお越しくださり、感性豊かな絵を観覧いただきました。（団体事務局） 親子なごやかな雰囲気のもと、納涼と体験学習が出来ました。皿回しにも皆で挑戦しました。（しょうがい団体役員） ポーリングをする事でスポーツをする喜びを感じられて楽しくプレーされていました。（しょうがい団体役員） 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">だしかいなの人づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）</p>	<p>災害支援活動ネットワーク事業 <small>地域福祉活動事例集 事例番号4参照</small></p> <p>事業目的 災害に関する地域内のネットワークを構築し、災害時でも強い地域づくりを促進します。</p> <p>○活動実施回数</p> <table border="1" data-bbox="365 411 1362 548"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告</p> <p>地域内の様々な組織や団体、福祉施設、企業等との協働による防災・減災活動をテーマとした活動を推進しています。地域のネットワークを構築することで、有事だけでなく平時より地域の福祉課題やニーズに対応した福祉活動を推進する基盤づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害や復興、災害ボランティアに関する勉強会の開催 ・被災地支援の活動や災害に対応する取り組みの検討 <p>【事業報告シートp. 41】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	3	3	3			5	<p>評 価</p>	<p>【B】 おおむね達成できている</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		実施回数 (回)	3	3	3			5										
<p>評価コメント</p>	<p>取り組みをととして防災・減災活動を中心とした地域組織のネットワーク化が図られている。参加団体を中心に、災害時だけでなく日ごろから地域福祉活動や見守り活動への関心が高まる取り組みが進められている。</p> <p>事業を継続することで取り組みに対する地域住民の理解を深め、より多くの地域住民や関係団体の参画を図ることが求められる。また、地域での見守り活動等、住民・関係団体が一体となって取り組めるテーマに絞った勉強会等の実施に向けた検討が求められる。</p>																	
<p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援活動をきっかけとして、住民や関係団体等の地域福祉推進に対する関心が向上している。 ・地域住民の主体的な企画により、活動（研修会等）が継続して運営される基盤作りが進められている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組むテーマが広範囲になるため、身近なテーマや暮らしの課題の解決に向けた取り組みとなるよう事業テーマの絞り込みが必要である。 <p>・災害から地域を守るのは、結局地域住民。そのためには、自分たちが地域を守るのだという意識が重要だと改めて感じた。（自治会長）</p> <p>・連絡会に参加し、防災という視点から改めて地域を見つめなおす必要性を感じた。有事の際、地域で活用できる資源の見直しを図りたい。（自治会長）</p> <p>・長浜市の防災・減災活動状況を、詳しく知りたい。（地域住民）</p> <p>・研修会で、「役場は“何もしてくれない”のではなく、“何もできない”のだ」という言葉を聞き、各々で行う防災対策の必要性を感じた。（地域住民）・連絡会に参加したことで、福祉施設入所者の存在を地域住民に周知する良い機会となった。（福祉施設職員）</p> <p>・有事の際に企業に求められる役割を、住民の立場に立って考えていかなければならないと思う。（地元企業代表者）</p>																	

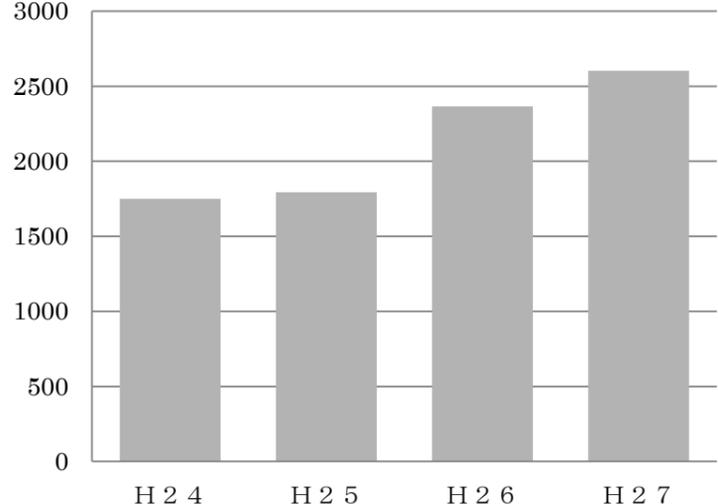
基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
だ し か い な の 人 づ く り	2 ― ② と も に 支 え あ い 頑 張 り あ え る 仲 間 づ く り (団 体)	<p>ボランティア団体支援 地域福祉活動事例集 事例番号24参照</p> <p>事業目的 地域の福祉活動の担い手であるボランティア団体の活動・設立支援をおこない地域コミュニティの活性化とボランティア活動を推進します。</p> <p>○ボランティア登録支援（登録）団体数</p> <table border="1" data-bbox="365 457 1359 594"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>支援団体数</td> <td>232</td> <td>237</td> <td>242</td> <td></td> <td></td> <td>240</td> </tr> </table> <p>○実施状況報告</p> <p>市内で活動するボランティア団体等の活動支援や運営に関する相談・助言を行なうことでボランティア団体活動の充実や活動の継続を支援しています。</p> <p>また、ボランティア団体の組織化やボランティア同士の連携・協働の機会を設けることで新たなボランティア活動の展開を図っています。</p> <p>【事業報告シートp.42】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	支援団体数	232	237	242			240	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		支援団体数	232	237	242			240										
評価コメント	<p>ボランティア団体の活動支援や登録、相談支援・助言等をとおしてボランティア活動の活性化・充実が推進されている。</p> <p>平成27年度は242団体が登録し、ボランティア同士の連携・協働の基盤整備が進められた。また、ボランティア活動をとおして活動者の生きがいづくりの促進と仲間づくりの取り組みが進められている。</p>																	
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動希望者には、ボランティア活動団体一覧を発行することにより、活動団体の情報提供を行ない、団体への加入につながった。 ・ボランティア活動団体一覧によって活動団体の情報を広く市民に提供することにより、活躍の機会が増え、活動の幅が広がった。 ・ボランティア講座終了後、新規グループとして登録につながっていることや、活動希望者をボランティア団体につなぐことで、活動の場づくり・仲間づくりが推進されている。 ・ボランティア情報紙「えくすてんど」等をとおして、社協や民間助成等の情報提供を行なうことで、活動財源の確保に向けた取り組みが進められている。 ・ボランティア活動保険の加入によりいざという備えになり、活動時の安心につながる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターに登録していない団体も多く、今後は市民活動センターと連携し幅広いボランティア活動への支援に向けた仕組みづくりの整備が必要である。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・今までボランティア活動をしていても、ボランティア活動保険を知らなかったけど、ボランティア保険や、助成に対して相談にのってもらって助かります。（ボランティア団体長） ・情報紙「えくすてんど」を見て、私たちの活動は登録できるのか相談にのってもらい、気軽に対応してもらいうれしかったです。（登録団体） ・グループの活動や運営、ちょっとした困り事についていつでも相談にのってもらえるのでうれしいです。（ボランティア団体長） ・登録して、活動場所を紹介していただきうれしかったです。（ボランティア団体長） 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしがいなの人づくり	2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）	<p style="text-align: center;">ボランティア連絡協議会支援 地域福祉活動事例集 事例番号26参照</p> <p>事業目的 地区内のボランティア団体が加入・参画する連絡協議会の支援をおこなうことで、団体間の連携・協働を深めボランティア活動の促進を図ります。</p> <p>○ボランティア連絡協議会事業開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>28</td> <td>49</td> <td>(61)</td> <td></td> <td></td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 市内のボランティア連絡協議会の運営を支援することで地域内のボランティア団体・個人の交流・連携・協働・学習の場としての機能を充実させています。 また、ボランティア連絡協議会同士の協働・ネットワークづくりを進めることでボランティア活動に対するニーズへの対応や活動課題の解決に向けた取り組みを促進します。</p> <p>【事業報告シートp. 43】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	28	49	(61)			35	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	28	49	(61)			35										
		評価コメント	市内9つのボランティア連絡協議会は、地域のボランティア活動団体(者)の中核的な存在として、各地区で自主的に活動を展開することができている。地域の課題に応じた交流会や研修等の支援を行ない団体間の相互理解や協働体制の構築が推進されている。 今後も、幅広いボランティア団体の参画のもとボランティア活動の中核組織としての機能・事業活動の充実が求められている。															
主な事業成果および課題	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会間の連携・協働体制を構築することで各地区のボランティア連絡協議会活動の活性化につながっている。 ・今期は代表者会議や協働で実施したボランティア活動をとおして、互いの活動への理解を深め、代表者同士の関係づくりが推進された。 ・復興バザーの活動をとおして、互いに相談し合える関係ができ、交流会に発展し、連絡協議会の活性化につながっている。 																	
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・水源の森のボランティア活動をとおして、連絡協議会会長と親睦を深める事ができ参加してよかった、また企画してほしい(V 連会長) ・今年も復興バザーできて良かった、回数を重ねるとお互い気心が分かって楽しい、来年も一緒に復興バザーがあれば参加したい。(社会福祉大会復興バザーでのボランティア活動者) ・代表者会等において、他の地区のボランティア連絡協議会の情報を知ることができ、自分の連絡協議会に活かされているのでこれからも参加したい(V 連会長) 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だ し か い な の 人 づ く り	2 ② と も に 支 え あ い 頑 張 り あ え る 仲 間 づ く り (団 体)	<p>【長浜市福祉バス事業】（平成27年度新規事業）</p> <p>○事業目的 市内で活動する高齢者、心身しょうがい者（児）、母子家庭、地区社協、ボランティア団体等の福祉団体の様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）の実施や参加を支援するため、長浜市福祉バスを運行します。</p> <p>○長浜市福祉バス運行 実施回数</p> <table border="1" data-bbox="368 590 1362 726"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数 (件)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>83</td> <td></td> <td></td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用車両：大型バス（正席45人まで）46台・リフト付きバス2台・中型バス（正席28人まで）小型バス（正席20人まで）35台 利用者数：2, 281人 利用日時：平日 午前8時30分～午後5時まで（原則） 利用団体：市内の福祉活動団体（市との委託契約により利用団体の定めがあります。） ※1 団体原則 1 回／年 運行距離：長浜市役所を中心に半径 110 kmの範囲 <p>【事業報告シートp. 44】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数 (件)	-	-	83			55	評 価	<p>【A】達成できている</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		貸出件数 (件)	-	-	83			55										
		評価コメント	<p>各地区社協、民児協等福祉バスの運行をとおして、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流が推進されている。</p> <p>平成27年度は、市から社会福祉協議会へ実施主体が変更となり、これまで培ってきた地域福祉の連携・協働体制基盤を活用することで、福祉バスを活用した福祉団体の取り組み・活動の充実が図られた。</p>															
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉団体等が福祉バスを利用することで、幅広い福祉活動・交流事業の取り組みが進められ、福祉団体活動等の活性化が促進されている。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協の研修会に利用してもらい、取り組みの幅が広がった。（地区社協役員） 母子家庭で夏休みでもなかなか旅行や外出の機会が取れない家庭が多い。福祉バスで県外の一泊旅行が実施でき、親子のふれあいや思い出づくりになったと思います。（母子当事者団体役員） 急な研修で福祉バスを利用することになったが、迅速に対応してもらい無事に研修に行くことができた。（団体役員） 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしがいなの人づくり	2 ③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	<p style="text-align: center;">活動事業および目標到達状況</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>地区社協研修事業 地域福祉活動事例集 事例番号1参照</p> <p>事業目的 地区社会福祉協議会(福祉の会)が構成員・地域住民を対象に行う、地域福祉などの研修会を支援することで地域福祉の活動者の育成・活動支援を推進します。</p> </div> <p>○地区社協研修会等開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者数：1,482人</p> <p>○実施状況報告 地域の福祉課題やニーズに対応した研修会等の開催を支援することで、地域内での福祉活動者の育成と地域福祉活動の更なる充実を図っています。</p> <p>【事業報告シートp.44】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	29	27	35			25	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	29	27	35			25										
評価コメント	<p>地域の課題解決や今後の活動促進を目的とした研修会の実施により、地域福祉活動全般の推進と人材育成の基盤づくりが展開されている。</p> <p>平成27年度は、研修会の開催に合わせて自治会長、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア活動者等の意見交換会が開催される機会が多く、自治会や地区を単位とした横のつながりを強化する取り組みが広がっている。</p>																	
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にあった課題解決や活動促進を目的とした機会が推進されている。 ・自治会長、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア活動者の意見交換により自治会内、地区内の横のつながりをつくることできている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状、課題に応じた研修内容の提案などが求められる。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の紹介により自治会の福祉体制構築を具体的に想像することができました。 (地域の見守り活動に関する研修会参加者) ・身近な人達と地域の状況を話しあった意見を、自治会活動などに反映させていきたいです。 (災害講座に参加した自治会長) 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">だしかいなの人づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり</p>	<p>福祉委員推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号2参照</p> <p>事業目的 地域の福祉活動・見守り活動を推進する福祉委員（地域福祉サポーター）に対する研修会等を開催し、福祉知識・援助技術の向上を図り地域福祉推進のリーダーを養成します。</p> <p>○福祉委員研修会等開催回数</p> <table border="1" data-bbox="368 499 1359 638"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 地域の福祉活動や見守り活動を推進する福祉委員に対する研修会を開催することで、福祉知識や援助技術の向上を図り、地域福祉推進のリーダーを養成しています。 【事業報告シートp. 45】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	10	11	12			11	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【A】達成できている</p> <p>地域福祉サポーター養成講座の開催や地域福祉コーディネーターによる継続的な働きかけによって、地域の見守り活動の担い手を新たに養成する取り組みが進められている。 福祉委員活動のさらなる充実を目指し、活動内容の充実や地域ニーズにあわせた養成プログラムの企画・提案が必要である。 今後も地域福祉コーディネーターによる福祉委員設置地域の情報把握と、新規設置に向けた継続的な支援が求められている。</p> <p>【成果】 ・身近な課題でわかりやすい研修プログラムを組むことで、未設置地域や新規活動者への負担軽減、地域住民への事業に対する理解・関心の向上が図られ、福祉委員の設置に向けた活動の活性化につながっている。 【課題】 ・福祉委員未設置地域に対する研修会参加の働きかけや、福祉委員設置地区での活動のフォローアップ手法等の検討が必要である。</p> <p>・研修会や情報交換会に参加することで、他地区の福祉委員活動を知ることができ、勉強になりました。（福祉委員） ・福祉委員の活動について知りたいと思い、研修会に参加しました。自分の自治会で福祉委員の立ち上げを検討するきっかけになりました。（自治会長） ・初めて福祉委員として活動するのですが、不安でいっぱいなので研修会に参加しました。先生の講義や先輩福祉委員の話を聞いて、気楽に考えることができるようになり、ほっとしています。（福祉委員） ・他の地域の福祉委員はどのような活動を展開されているのか知りたいです。（福祉委員）</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	10	11	12			11										

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
だ し か い な の 人 づ く ら 2 — ③ や ら が い ・ 楽 し み を も っ て 頑 張 り あ え る 自 分 （ 人 ） の す く ら		<p>小地域サロン支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号29参照</p> <p>事業目的 高齢者等の交流・コミュニケーションの場である小地域サロン活動の担い手を支援・育成し、充実したサロン活動を推進します。</p> <p>○サロン開催回数</p> <table border="1" data-bbox="362 499 1359 640"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>1,794</td> <td>2,365</td> <td>2,602</td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>サロン活動従事者数：平成27年度 延べ19,813人</p> <p>○実施状況報告 サロンボランティアを対象とした交流会、レクリエーション等の講座の開催を通して、サロンボランティアの活動意欲の向上とレクリエーション等のスキル習得を図ることで、それぞれの身近な地域でサロン活動が展開、活性化できるよう支援しています。</p> <p>【事業報告シートp.45】</p>  <p style="text-align:center">【サロン開催数の推移】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	1,794	2,365	2,602			2,000	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	1,794	2,365	2,602			2,000										
評価コメント	<p>サロンスタッフに対する学習会・交流会等を開催することで、活動の活性化やサロン活動内容の充実を図ることができた。</p> <p>平成27年度は市内各地で2,602回開催（前年比10%増）され、延べ19,813人のサロンスタッフが活動することができた。情報紙の発行やボランティア活動紹介、活動費助成、レクリエーション用具(テーブルゲーム)等の貸出しの充実を図り、サロンスタッフが地域で活動するための支援が進められている。</p> <p>高齢化が進む中、地域に気軽に集う居場所をつくることで、活動者も参加者もいきいきと暮らせる地域づくりを進めていくことが求められている。</p>																	
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンについての出前講座を地区社協や地域に対して行ったことにより、サロンや見守りに対して関心が深まり、地域で取り組みを進めるきっかけとなった。 ・男性参加者を増やす事を目的に、昨年度サロンボランティア交流会でコミュニケーションマーチャンの紹介を行った結果、男性参加者が増加した。 ・サロンボランティア交流会で認知症に効果がある体操等を紹介することにより、サロン活動内容が充実し、活動者を支援することにつながっている。 ・気軽に簡単に楽しめる貸出用具等の購入により、サロン活動の充実が図れた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会などの小地域におけるサロン活動者の人材育成に対するさらなる取り組みが必要である。 ・気軽に簡単に楽しめるサロンの貸出用具等の充実を整備していく事が必要である。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎回サロンで何をしようか？」と悩みますが、情報紙をみてヒントをもらっています。（サロンボランティア） ・男性の方はなかなか参加してもらえなかったが、コミュニケーションマーチャンを行い男性の方がサロンに参加してもらえた。（サロンボランティア） ・サロンで出会った方と町中で出会っても、声を掛け合う関係になれば、サロンに参加してよかった。（サロン参加者） ・自治会で出前講座(サロンについて)後、「サロンをはじめよう」と、声が出てサロンをはじめられるきっかけになった。（自治会長） ・今回紹介してもらった持ち運びの簡単なゲームや簡単に遊べるゲームをもっと充実してもらいたい。（サロンスタッフ） 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしかなのづくり	2-3 やしがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	<p style="text-align: center;">しょうがい(児)者交流事業 地域福祉活動事例集 事例番号8~12参照</p> <p>事業目的 しょうがい(児)者支援事業をとおして、しょうがいに関する理解と関心を深め、ボランティア活動としての担い手を育成・支援します。</p> <p>○しょうがい(児)者交流事業ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>活動者数 (延べ人数)</td> <td>115</td> <td>172</td> <td>139</td> <td></td> <td></td> <td>180</td> </tr> </table> <p>○実施状況報告 しょうがい児者およびその家族が地域から孤立することを防ぐため、地域住民の方（主に民生委員児童委員、健康推進委員、学生など）にボランティアとして参加していただき、余暇支援を行っています。 ※療育レクリエーション…日帰り旅行に参加して参加者同士の交流を深めることで、地域での顔見知りを作り孤立を予防するよう努めています。 サマーハウス…夏休みの親子活動により、子どもの余暇充実と保護者の“ほっとする”時間を確保しています。 料理サロン…参加者とボランティアと一緒に調理することで、生活訓練と交流を図っています。 【事業報告シートp. 47】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者数 (延べ人数)	115	172	139			180	<p>評価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【B】 おおむね達成できている</p> <p>しょうがい児者の余暇支援活動に地域ボランティアが関わることで、ボランティアが地域とのかけはしとなり、当事者と地域の交流や絆づくりが促進されている。また、ボランティアの年齢層も学生から退職者世代と、徐々にではあるが幅広くなってきており、地域でのしょうがいに対する理解や関心を深めることにつながっている。 平成27年度は、しょうがい者支援のためのボランティア養成講座を開催し、人材育成に向けた取り組みが進められた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をとおして、しょうがいへの理解と関心を深めることができている。 ・地域住民がボランティアとして参加することで、しょうがい児者やその家族と地域を結びつける取り組みが進められている。 ・ボランティア養成講座を行うことで、住民に対し関わりを持つきっかけをつくるとともに、新規ボランティアの獲得を推進している。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者さんと一緒に料理することをとおして、一緒に成長できているような気がします。参加するたびに新たな気づきがあり、新鮮です。（料理サロンボランティア） ・ボランティアとして参加したことで、特別扱いするのではなくひとりの子どもとして接して欲しいというご両親の思いに気づきました。（サマーハウス学生ボランティア） ・最初はどよう接したらいいのかわからず身構えましたが、子どもたちのあどけない笑顔で緊張も溶けていきました。今年は学校の宿題として参加したのですが、来年は自主的に参加するつもりです。（サマーハウス学生ボランティア） ・子どもたちの成長が楽しみで、毎年参加しています！（サマーハウスボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に興味はありましたが、知識も関わりもなく不安だったので、しょうがいサポーター養成講座を受講しました。（ボランティア養成講座受講生）
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		活動者数 (延べ人数)	115	172	139			180										

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしかなのづくり	2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	<p style="text-align: center;">子育て支援事業（おもちゃ図書館） <small>地域福祉活動事例集 事例番号20参照</small></p> <p>事業目的 子育て支援事業をとおして、子育てに関する理解と関心を深め、ボランティア活動としての担い手を育成・支援します。</p> <p>○子育て支援ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1359 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動者数 (延べ人数)</td> <td>114</td> <td>117</td> <td>115</td> <td></td> <td></td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 ボランティアとして関わることで、子育てに関する理解と関心を深め、地域ぐるみで子育てを支援する環境の形成を目指します。 また、ボランティア活動を通して、子育て支援に関する人材の育成を図ります。 【事業報告シートp. 48】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者数 (延べ人数)	114	117	115			170	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【B】 おおむね達成できている</p> <p>読み聞かせや工作等イベント等への参加・見守りをとおして、参加親子とのつながりが形成され、ボランティア活動意欲の向上へとつながっている。 多くの子育てボランティア活動者・団体がおもちゃ図書館に参画することで、子育て相談や支援活動の充実が進み、地域ぐるみでの子育て支援体制の拡充が図られている。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的にイベントを開催することにより、ボランティア活動者の継続した活動基盤が整備されている。 民生委員児童委員、地区社協、福祉団体等との協働による、絵本の読み聞かせや子育て相談活動が展開されることで、地域ぐるみの子育て支援活動が推進されている。 企画段階からボランティア活動者に加わっていただくことで、様々な視点から事業を企画することができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関わっているボランティアが限られてきており、新たな多くの子育てボランティア活動者に参画いただけるよう周知、支援が求められる。 <p>参加者の笑顔が活動の励みになっています。（ボランティア） 子どもやお母さんとふれあうことで、最近の子どもの状況を知り、活動の幅が広がりました。（更生保護女性会） 子どもが好きなので、関わる場があり嬉しいです。（ボランティア） 孫の世話から手が離れたので、このボランティアを始めました。子どもたちの成長が楽しみでなりません。（ボランティア）</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		活動者数 (延べ人数)	114	117	115			170										

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">だしかいなの人づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり</p>	<p>中山間地域支援事業（ワークキャンプ） <small>地域福祉活動事例集 事例番号17参照</small></p> <p>事業目的 限界集落の地域活動の活性化・地域課題の解決を図るため、ボランティアの育成・活動支援を推進します。</p> <p>○ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1362 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動者 (延べ人数)</td> <td>119</td> <td>228</td> <td>166</td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 学生ボランティア団体と連携し、市内の中山間地域の生活課題の緩和や地域の活性化に取り組むことで地域交流の大切さや地域課題に向きあう若年層ボランティアの育成を推進しています。 【事業報告シートp. 49】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者 (延べ人数)	119	228	166			250	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【C】事業の強化または見直しが必要である</p> <p>中山間地域における生活課題や地域課題に焦点を当て、ボランティアの人材育成が進められている。若年層・青年層世代に対するボランティア活動・地域福祉活動への参画の基盤づくりの推進をととして中山間地域の抱える生活課題の軽減と互いにたすけあい、支えあう地域づくりが必要である。 現在の取り組みは特定の大学サークルとの連携協働にとどまっているため、市内外から幅広いボランティア活動者の参画を得る仕組みづくりの整備が急務である。</p> <p>【成果】 ・学生ボランティアが年々減少傾向にある中、大学生に向けた中山間地域支援事業（ワークキャンプ）の学習会を開催することで9人の参加のうち6名が新たな支援者としてつながった。 ・中山間地域での困りごとを地元住民と一緒に取り組み、実際にボランティア活動を経験することで若年層ボランティアが中山間地域に参入していかなければという意欲向上につながっている。 【課題】 ・参加者数が減少傾向にあり、新たな活動者の確保を目指した取り組みが求められる。</p> <p>・初めてワークキャンプに参加して、また来年もぜひ参加したいと思いました。（学生ボランティア） ・いろいろな人とふれあい、おしゃべりを通して普段しないことが経験できました。ボランティア活動をして感謝してもらえたことで、参加して本当によかったと思いました。（学生ボランティア）</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		活動者 (延べ人数)	119	228	166			250										

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
だしかなの人づくり	2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">福祉教育推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号31参照</p> <p>事業目的 福祉教育を推進することで、地域福祉やボランティア活動に対する理解と関心を深め、地域福祉の担い手となる活動者を育成します。</p> <p>○福祉教育受講者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年 度</th> <th style="width: 10%;">H25</th> <th style="width: 10%;">H26</th> <th style="width: 10%;">H27</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> <th style="width: 10%;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数 (人)</td> <td>8,789</td> <td>8,909</td> <td>8,261</td> <td></td> <td></td> <td>9,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 福祉教育を通じて、子どもから大人まで地域福祉やボランティア活動等に対する理解と関心を深め、福祉活動の担い手となる人材の育成を推進しています。 【事業報告シートp.50】</p> </div>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	受講者数 (人)	8,789	8,909	8,261			9,500	評 価	【B】 おおむね達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		受講者数 (人)	8,789	8,909	8,261			9,500										
評価コメント	教育機関や企業などの学習の場で福祉教育を進め、延べ8,261人が福祉に対する理解を深め、福祉活動、ボランティア活動を担う人材の育成に取り組めた。 今後も、教育機関や企業、地域組織との連携・協働により生活の身近な場所で福祉活動を担う人材の育成が求められている。																	
主な事業成果 および課題 主な参加者・住民の 評価・声	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からも年度当初に相談や依頼があり、福祉教育への理解が推進されてきている。 ・自治会や各種団体等の依頼もあり、体験を通して福祉について考える機会になり、「共に学び共に生きる」意識の向上につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民に対して、福祉教育等の啓発を行い取り組める機会を周知していく工夫が必要である。 <p>・当事者の方のお話を直接お聞きして、しょうがいがあっても様々な工夫で自立した生活が営めることを知り感銘しました。子ども達も何かを感じてくれたと思います。(4年担当教諭)</p> <p>・手話を教えてもらい、耳の不自由な人の生活を知る事ができました。困る事も多いと聞き、聴覚しょうがい者にやさしくしたい。(手話を習った4年生)</p> <p>・知らない事より、少しでも知っている。この知る機会を持てたことは良かった。今後もこのような機会があれば参加したい。(自治会の参加者)</p> <p>・受講後、しょうがい者だけでなく誰に対しても、「目配り、気配り」が必要なことだと気付いた(自治会の参加者)</p>																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">だしかいなの人づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 ③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり</p>	<p style="text-align: center;">ボランティアコーディネート業務 <small>地域福祉活動事例集 事例番号23参照</small></p> <p>事業目的 ボランティア業務を担当する職員を配置し、ボランティア活動希望者と支援希望者のニーズを調整します。</p> <p>○ボランティアコーディネート件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>287</td> <td>322</td> <td>376</td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>内ニーズ調整相談件 (件)</td> <td>266</td> <td>232</td> <td>268</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ボランティア活動保険加入者数 平成26年度 3,503人 平成27年度 4,028人</p> <p>○実施状況報告 ボランティアをしてほしい人とボランティアをしたい人をつなげるコーディネート業務をとおして、ボランティア活動者がやりがいを持って活動できる環境づくりを推進しています。 また、毎月発行する情報誌の発行やボランティア活動保険の取り扱い等、ボランティア活動の充実に向けた取り組みを進めています。 【事業報告シートp. 51】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数 (件)	287	322	376			230	内ニーズ調整相談件 (件)	266	232	268				<p>評価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【A】達成できている</p> <p>ボランティア活動団体(者)と依頼団体(者)を結びコーディネート業務をとおしてボランティア活動団体(者)の活性化に向けた取り組みが推進されている。 平成27年度は376件のボランティア依頼・実施等に対する相談を受け、ボランティア活動の円滑な活動を支援することができた。 地域の高齢化やライフスタイル・価値観の多様化等が進む中で、新たなボランティアニーズに対応していくことが求められている。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を推進する環境整備（マッチング機能・保険加入によるリスク管理等の推進）の取り組みが進められている。 登録団体同士をコーディネートすることにより、団体同士が情報交換を行うことで、やりがいの持てる活動につなげるとともに活動の輪を広げる環境整備の推進ができた。 個々のニーズに対して、ボランティア活動が社会参加の一つととらえ、市民がボランティア活動に参加できるよう情報発信を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人のニーズに対応していくための、ボランティア活動者の開拓が求められている。 <p>・いつも施設行事を楽しく盛り上げていただけるボランティアさんを紹介していただき助かっています。(施設職員)</p> <p>・長浜市内全体を幅広く把握しているボランティアセンターから、同じ活動内容の団体を紹介してもらい、情報交換ができよかった。(ボランティア団体長)</p> <p>・昨年度に役員さんから、ボランティアセンターで夏祭りのイベント企画を相談したと聞き、今年も頼みます。(自治会長)</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
相談件数 (件)	287	322	376			230																			
内ニーズ調整相談件 (件)	266	232	268																						

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
ねんじろな根太じろ	3 ① 気楽に相談できる関係・環境・意識づくり	<p>福祉・生活相談窓口の運営 <small>地域福祉活動事例集 事例番号34～37参照</small></p> <p>事業目的 市民の身近な福祉・生活相談窓口として、気軽に相談できる相談窓口を設置・相談に応じるとともに、地域の福祉課題を把握することで、地域ニーズに応じた福祉活動を推進します。</p> <p>○相談窓口設置数（福祉生活相談・よろず相談）</p> <table border="1" data-bbox="368 541 1365 772"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活相談（ヶ所）</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>よろず相談（ヶ所）</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 現在、長浜センターおよび木之本センターの2か所に相談員を配置し、市民の身近な相談窓口として生活相談を実施しています。 また、よろず相談を8か所で開催し、市民の身近な生活上の悩みや心配ごとの相談窓口として運営しています。平成27年7月からは、よろず相談窓口を市内3カ所に集約し、効率的な運営に努めました。 【事業報告シートp. 54】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	生活相談（ヶ所）	2	2	2			2	よろず相談（ヶ所）	8	8	3			2	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【A】達成できている</p> <p>相談の質を高めることを目的として相談窓口を集約し、相談員（専門職等）の適正配置を行うことで専門的な相談体制整備が進められている。 また、生活相談では電話相談対応や訪問面談等の実施することで、相談者に寄り添った相談支援の提供が図られている。 相談員の援助技術向上に向けた研修が実施され、専門的な相談に対応するための基盤づくりが推進されている。</p> <p>【成果】 ・住民の身近な課題や悩みを気軽に相談できる窓口が整備されている。 【課題】 ・専門性が高く、複合化する生活相談に対する確かな対応が求められるなか、幅広い知識を有した相談員の配置が求められる。</p> <p>・無料で気軽に相談に乗っていただけただけなのでとてもありがたかったです。（よろず相談利用者） ・成年後見制度の利用は、内容が難しく敷居が高く感じていましたが、丁寧に制度説明や申し立て手続きまで手伝っていただき、とてもありがたかったです。（成年後見制度相談者） ・妻や子どもを抱え失業し生活費にも困っていましたが、じっくりと話を聞いていただいたうえで、貸付制度（生活福祉資金）を勧めていただきました。当面の生活費を確保し、安定した仕事を探すことができました。今後は、頑張っ返済していきたいです。（生活福祉資金総合支援事業利用者）</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		生活相談（ヶ所）	2	2	2			2																	
		よろず相談（ヶ所）	8	8	3			2																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
ねんじな根太しん	3 ① 気楽に相談できる関係・環境・意識しん	<p>生活相談員の設置</p> <p>事業目的 多様な生活課題を抱える方に対する、身近な相談窓口として、専門性と地域性を併せもった専門職を配置し生活相談窓口を運営します。</p> <p>○生活相談員の設置</p> <table border="1" data-bbox="368 541 1365 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活相談 (人)</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 社会福祉士・介護支援専門員・しょうがい者相談員等を複数配置して生活課題を抱える方々の幅広い相談を受け、必要な制度の紹介や手続きについて支援をしています。 【事業報告シートp. 54】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	生活相談 (人)	6	7	8			7	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		生活相談 (人)	6	7	8			7										
		評価コメント	<p>生活相談員を市内2か所に配置し、行政関係機関等との連携で地域住民の生活課題に幅広く対応できる体制が推進されている。</p> <p>福祉の総合相談窓口の専門職として、市民のセーフティネット機能として役割が果たすことを目的に、多職種とのさらなる連携と質の向上が求められている。</p>															
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の生活課題に対して、手続き支援や制度紹介等を提供することができている。 生活相談員の質を高める取り組みを進め、幅広い相談に対応できる体制整備が進められている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活相談に対応するため、質と知識の向上が求められる。 																	
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 様々な相談窓口が連携することで、市民の生活課題解決に向けた窓口として役割を担っていただいている。（関係機関から） 行政だけでは解決できない課題にも積極的に関わり、相談者の目線で支援いただけるので頼りにしています。（民生委員児童委員） 																	

基本 目標	活動 の柱	活動事業および目標到達状況																
ねんじゆな根太ひの	3 ② 気になる人を支えられる関係づくり	<p>地域見守り活動推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号3参照</p> <p>事業目的 地域で災害時の要援護者支援を円滑に推進するため、長浜市避難支援見守り支えあい制度と協働・連携し、個別支援計画の策定を支援します。</p> <p>○個別支援計画策定件数</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1359 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定率 (%)</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」申請に対し、自治会長や民生委員児童委員との連携のもと、個別支援計画が策定されるよう制度説明や相談を行っています。 個別支援計画策定をとおして、自治会内で当該制度を活用した見守り支えあい活動が促進されるよう、制度を活用した事例の紹介などを行い、地域で見守りが必要な人の支援体制を推進しています。 【事業報告シートp. 55】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	策定率 (%)	95	95	95			95	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		策定率 (%)	95	95	95			95										
評価コメント	<p>地域関係者（自治会長や民生委員児童委員等）への説明や学習会、研修会をとおして、地域住民の見守り活動・支えあい活動の理解と避難支援・見守り支えあい制度の活用が図られている。</p> <p>平成27年度は地域福祉コーディネーターが自治会への働きかけを行い、要援護者と支援者をつなげる体制構築が図られた。</p> <p>制度登録者数の減少や地域間の差等制度の運用に対する課題は大きく、地域住民の見守り体制構築に関する意識啓発による、見守り支えあ地域づくりに向けた取り組みの推進が必要である。</p>																	
主な事業成果 および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会役員、民生委員児童委員など、地域内の要援護者と支援者をつなぐ地域リーダー等に対して、重点的に制度説明や活動紹介を行い、制度登録者数の増加や個別支援計画の策定率の向上だけでなく、支えあい活動の実践に向けた働きかけができています。 制度登録と併せて、「命のバトン」や「防災・福祉マップ」など、防災や地域の見守り活動に対する住民意識の向上が図られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者数が減少傾向にあり、地域間の差もあるため市制度と地域住民活動との協働体制のあり方に関する検討が必要である。 																	
主な参加者・住民の 評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 登録が進むことで、自治会内でいざという時の避難支援の役割分担を進めることができました。（自治会長） 「日ごろ元気になっているサイン」を学び、気を遣いすぎない見守り活動に活かしています。（民生委員児童委員） 地域の中で民生委員さんや自治会の皆さんに支えていただける安心感が持っています。（制度登録者） 																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																
ねがえる根太くらし	3 ② 気になる人を支えられる関係づくり	<p>地域・介護連携会議 地域福祉活動事例集 事例番号22参照</p> <p>事業目的 地域福祉担当と介護の専門職との連携・協働により、介護現場や生活の場で浮かび上がってくるさまざまな福祉課題・地域ニーズを把握することで、新たな福祉課題への取り組みを推進します。</p>	評価	【A】達成できている														
		<p>○地域・介護連携会議開催回数</p> <table border="1" data-bbox="365 541 1365 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 地域福祉担当と介護事業担当の連携と協働により、それぞれの立場から把握する地域課題、生活課題等について課題分析や共有化を図り、地域ニーズに応じた新たな福祉サービスの提案や活動につなげる取り組みを行っています。</p> <p>【事業報告シートp. 56】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	44	48	19			12	評価コメント	<p>介護の専門職と地域支援の専門職が連携し、生活課題や地域課題などを把握・共有する中で、課題解決に向けた新たな取り組み、活動の企画・提案機能の整備が図られている。潜在化する課題こそ、複数の専門職や地域住民との連携が必要となることが多く、円滑な情報共有により、支援を必要とする人の生活課題や地域の課題について多職種が連携し、改善に向けた取り組みが進められている。</p> <p>平成27年度は専門職が連携するための情報共有の手段について検討が進められ、仕組みがつくられた。今後も多職種が連携、協働することで、地域の様々な課題解決に向けた取り組みを進め、新たな福祉サービスの企画・立案を図っていくことが求められる。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
開催回数 (回)	44	48	19			12												
	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在化する個別課題や地域課題を看過せず、気づきを共有できる取り組みの仕組みがつけられた。 ・地域課題に対し、専門職の連携によって解決に向けた検討の体制整備が進められている。 ・地域支援の専門職と介護の専門職が連携することで、地域ニーズに応じた新たな福祉サービスの提案や活動が進められている。 ・地域課題や生活課題を抱える人を支援する多職種のネットワークが整備されている。 																
	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・職務中の「気づき」を放っておくことなく、つなげる場ができ心強い。(デイサービス職員) ・ひとりの専門職だけでは解決が難しいことも、複数の専門職がチームとなって取り組むことで解決の糸口が見えてきました。(介護事業課) ・日ごろの業務で気になることに気づいたとき、情報共有できる仕組みができたので、連携を図ることができます。(地域福祉担当者) 																

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
ねんじろな根太つくり	3 ③ 協働と参画による地域づくり	<p>地区別地域福祉推進事業（地域ケア会議） <small>地域福祉活動事例集 事例番号47参照</small></p> <p>事業目的 市内15地区でそれぞれの福祉課題・地域ニーズに応じたきめ細やかな福祉活動を推進することを目的に、福祉懇談会の開催、地区福祉活動計画の策定を推進します。また、市と協働でさまざまな地域福祉の課題解決に向けた協議の場（地域ケア会議）を開催します。</p> <p>○地区活動計画策定数・率</p> <table border="1" data-bbox="365 590 1362 821"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定数 (ヶ所)</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>策定率 (%)</td> <td>—</td> <td>27</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 長浜市地域福祉活動計画と連携し、市内15地区に応じた地域福祉を推進するため、地域住民と地区活動計画の策定に向けた協議を始めています。また、懇談会を進めるに当たり、市行政との連携も図り、地域住民と行政が連携した地域福祉を進めます。 【事業報告シートp. 57】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	策定数 (ヶ所)	—	4	15			15	策定率 (%)	—	27	100			100	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【A】達成できている</p> <p>地域福祉活動の課題や展望、これからの活動方針などが、住民の主体的な話しあいにより進められ、全地区で地区版地域福祉活動計画が策定された。 住民懇談会での展望や活動方針が、これからの地域福祉活動の基盤となり、地域の各組織・団体の具体的な事業計画等に反映されるなど、着実に地域福祉活動の推進が図れている。 今後は、計画の進行管理や新たな活動の展開を目指した地域課題やニーズを協議、検討、共有できる話し合いの場の開催が求められる。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全地区において地区版の地域福祉活動計画の策定が進められ、これからの地域福祉の方向性や活動指針が地域内で共有されている。 身近な地域の福祉課題やニーズを住民が主体的に話し合うことで、解決に向けた取り組みの糸口が見えてきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区版計画の進行管理や新たな活動の企画・実施を展開していくための仕組みづくりが求められている。 <p>・日ごろの活動も「なんとなくやる」のではなく、目標と目的をもって取り組みを考えることが、やる気につながってきます。（地区社協役員）</p> <p>・できることから、無理をせず、一步一步着実に目的地に向かってみんなで進んでいきたいです。（福祉団体代表者）</p> <p>・計画を無駄にすることなく、しっかりと振り返りなどの進捗管理を行っていきたい。（地域づくり協議会役員）</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		策定数 (ヶ所)	—	4	15			15																	
策定率 (%)	—	27	100			100																			

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																																					
ねんじな根太しん	3 ③ 協働と参画による地域づくり	<p>災害ボランティアセンターの機能強化 <small>地域福祉活動事例集 事例番号28参照</small></p> <p>事業目的 災害時の被災者支援活動を円滑に進めるため、災害ボランティアセンターの機能充実を図ります。また、平時から関係機関・団体とのネットワークを構築し万が一の災害に備えます。</p> <p>○災害ボランティアセンタースタッフ数・訓練回数</p> <table border="1" data-bbox="365 590 1362 1010"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア人数</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>61</td> <td></td> <td></td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>訓練(回数)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティア養成講座の開催</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンタースタッフ研修</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 自分たちの地域を守る仕組みを学び、災害時における災害ボランティアセンターのボランティアスタッフの養成をしています。 【事業報告シートp. 58】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	ボランティア人数	37	44	61			80	訓練(回数)	2	2	2			2	災害ボランティア養成講座の開催	1	1	1			1	災害ボランティアセンタースタッフ研修			2			2	<p>評価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【B】おおむね達成できている</p> <p>災害発生後の復旧期・復興過程において、市内外からのボランティア活動者が円滑に活動できる体制づくりを進めるために平時より災害ボランティアセンタースタッフの人材を育成していくことが求められている。 平成27年度は、災害ボランティア養成講座をとおして新たに17名の災害ボランティアセンターの運営支援者を育成し、災害時に備える体制整備が推進された。今後も継続して、大規模災害時における復興支援窓口の一翼を担う災害ボランティアセンターの機能強化が求められる。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 養成講座後、登録されたスタッフの研修において、災害ボランティアセンターの運営について知識を深め、避難所運営ゲームHUGを実施することにより、平時からボランティアスタッフの人材育成が行われている。 出前講座等において、「災害ボランティアセンターの役割」等を伝えることで、災害に対する備えや復興支援活動に対する地域住民の意識向上が図られた。 災害ボランティアによる常総市の災害ボランティア活動をとおして、センターの運営や役割、必要性を体験から学ぶことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティア養成講座受講後、定期的に研修を実施し災害ボランティア運営支援者のスキル向上が求められる。 <p>よくテレビで災害ボランティアセンターの映像が映るが、今日の訓練で災害ボランティアセンターの役割が良くわかった。(総合防災訓練に参加の登録ボランティアスタッフ)</p> <p>来年はボランティア登録して災害ボランティアセンタースタッフとして訓練に参加したい。(総合防災訓練に参加の地域住民)</p> <p>災害は怖いけど予防はできん、発生した時のボランティアさんの役割は大きいと改めて思いました。(総合防災訓練に参加の地域住民)</p> <p>避難者運営ゲームHUGを何回行っても、答はないしわからん、実際にはどうなるのかな、心配です。(研修参加者)</p> <p>滋賀県災害時要援護者支援ネットワークに参加して、県の危機管理センターの見学もでき、いろんなことが学べる機会を持てた。(研修参加者)</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																															
		ボランティア人数	37	44	61			80																															
		訓練(回数)	2	2	2			2																															
災害ボランティア養成講座の開催	1	1	1			1																																	
災害ボランティアセンタースタッフ研修			2			2																																	

基本目標	活動の柱	活動事業および目標到達状況																							
ねんじゆな根太びん	3 ③ 協働と参画による地域づくり	<p>地域福祉コーディネーターの配置</p> <p>事業目的 地域の福祉課題・地域ニーズを把握し、地域組織・福祉関係団体（自治会・民生委員児童委員・地区社会福祉協議会（福祉の会）・ボランティア等）との協働により地域内の地域福祉活動の推進と地域間の連携を促進します。またコーディネート力の質を高め、新たな福祉課題に対する取り組みを提案します。</p>	評価	【A】達成できている																					
		<p>○地域福祉コーディネーター設置数・研修回数</p> <table border="1" data-bbox="365 632 1359 863"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数 (地区)</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>設置率 (%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	設置数 (地区)	15	15	15			15	設置率 (%)	100	100	100			100	評価コメント	<p>市内15地区に地域福祉コーディネーターを配置することで、地区社協の支援をはじめ地域福祉に関わる団体や活動、地域住民との連携や協働体制構築の取り組みが進められている。</p> <p>平成27年度は、地域支援活動とともに特に高齢者等の生活支援体制の構築、地域住民による見守り・たすけあいによる支えあいの地域づくりを進めるため、生活支援コーディネーター（介護保険制度）の設置検討について協議が進められた。</p>
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
		設置数 (地区)	15	15	15			15																	
設置率 (%)	100	100	100			100																			
<p>○実施状況報告</p> <p>地域住民とともに各地域の実情に応じた地域福祉活動を展開するため、15地区に担当地域福祉コーディネーターを配置し、住民主体の地域福祉活動を支援しています。</p> <p>【事業報告シートp. 59】</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地区内の様々な地域福祉活動に対し、面的な支援や関わりに取り組むことができている。 • 福祉活動団体のつながりや連携を取ることができている。 																							
	主な参加者・住民の評価・声	<p>• 各団体とつながりをつくってくれるので、地域内のやりとりがスムーズになりました。（福祉活動団体代表者）</p>																							

